

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

No. _____

農 薬 抄 録

フェンピロキシメート

(殺虫剤)

(作成年月日)

平成 25 年 4 月 1 日改訂

(作成会社名) 日本農薬株式会社

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

目 次

	頁
I. 開発の経緯	1
II. 物理的・化学的性状	3
III. 生物活性	12
IV. 適用及び使用上の注意	13
V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係	19
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	59
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	65
VIII. 毒性	
<毒性試験一覧表>	66
1. 原体	
(1) 急性毒性	72
(2) 皮膚及び眼に対する刺激性	77
(3) 皮膚感作性	80
(4) 急性神経毒性	84
(5) 急性遅発性神経毒性	85
(6) 90日間反復経口投与毒性	87
(7) 21日間反復経皮投与毒性	103
(8) 90日間反復吸入毒性	104
(9) 反復経口投与神経毒性	105
(10) 28日間反復投与遅発性神経毒性	106
(11) 1年間反復経口投与毒性及び発がん性	107
(12) 繁殖毒性及び催奇形性	147
(13) 変異原性	169
(14) 生体機能影響	183
(15) 解毒及び治療	192
(16) その他	196
2. 原体混在物及び代謝物	200
3. 製剤	229
IX. 動植物及び土壌等における代謝分解	
<代謝分解試験一覧表>	245
<代謝分解物一覧表>	262
1. 動物体内運命に関する試験	266
2. 植物体内運命に関する試験	330
3. 土壌中運命に関する試験	396
4. 水中運命に関する試験	414
4.1. 加水分解運命試験	414
4.2. 水中光分解運命試験	419
5. 土壌吸着性試験	427
6. 魚類濃縮性試験	431
<代謝分解のまとめ>	434
<動植物、土壌及び光における代謝分解経路>	436
<代謝分解の概要>	437
[附] フェンピロキシメートの開発年表	443

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

I. 開発の経緯

1. 開発の経緯

フェンピロキシメートは日本農薬株式会社が開発したフェノキシピラゾール系の殺ダニ剤である。

NNI-850 の試験名でフロアブルおよび乳剤を(社)日本植物防疫協会への委託試験に供試した結果、パノニクス属、テトラニクス属を問わず、リンゴハダニ、ミカンハダニ、ナミハダニ及びカンザワハダニ等の主要なハダニに対し低薬量で安定した高い効果を示すことが確認された。また本剤は、サビダニ、ホコリダニ及びチャノミドリヒメヨコバイに対しても有効であり、りんご、かんきつ、なし、もも、ぶどう、おうとう、茶、すいか等に対して薬害を示さず、幅広い作物に使用できることがわかった。

本剤の安全性については、 から社内で初期評価に着手し、 から亜急性毒性試験、引き続きで慢性毒性試験、発癌性試験、繁殖及び催奇形性試験等の一連の安全性評価試験を実施した。また、土壌残留試験は から、作物残留試験及び代謝試験は から実施し、鳥類、有用昆虫および天敵等への影響、環境中の動態についても より検討した。

これらの結果をまとめ、 農薬登録を申請し、安全性などを含めた各種の審査がなされ、ADIは 0.0097 mg/kg/日と設定された。1991年4月1日付でフェンピロキシメート水和剤(ダニトロンフロアブル)が農薬登録された。

諸外国の登録状況は、次頁に表示したとおりであり、米国および EU 諸国等に登録がある。JMPR における安全性評価は から行われ、ADIは 0.01 mg/kg/日と設定されている。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2. 諸外国での登録状況及び規制状況 (2010年3月現在)

フェンピロキシメート5%フロアブル剤について、欧州、米国、ニュージーランド、オーストラリアにおいて、また、5%乳剤について米国において、以下の作物にて登録を取得している。

国名	作物
5%フロアブル剤	
イギリス	りんご
イタリア	りんご、なし、もも、プラム、かんきつ、ぶどう、いちご、トマト、ピーマン、なす、きゅうり、豆、観賞植物
オーストリア	ぶどう、りんご、なし、プラム、ホップ、観賞植物
キプロス	りんご、なし、かんきつ、もも、ねくたりん、おうとう、ぶどう、いちご、トマト、ピーマン、なす、きゅうり、豆、観賞植物
ギリシア	りんご、かんきつ
スウェーデン	いちご、観賞植物
スペイン	りんご、なし、もも、ネクタリン、アプリコット、おうとう、かんきつ、ぶどう、トマト、なす、いちご、豆、観賞植物
スロバキア	りんご、ぶどう、ホップ
チェコ	りんご、なし、ホップ
デンマーク	りんご、なし、いちご、観賞植物
ドイツ	りんご、なし、ぶどう、おうとう、プラム、いちご、ラズベリー、その他のベリー類果実、きゅうり、セイヨウカボチャ、かぼちゃ、ズッキーニ、観賞植物
ハンガリー	りんご、なし、もも、ぶどう
フランス	りんご、もも
米国	きゅうり、ぶどう、観賞植物
ベルギー	りんご、なし、プラム
ポーランド	りんご、なし、プラム、トマト、きゅうり、とうがらし、観賞植物
ポルトガル	りんご、なし、もも、ぶどう、かんきつ、いちご
ルーマニア	りんご、ぶどう、クロスグリ、きゅうり、プラム、トマト、なす、ピーマン、大豆
ニュージーランド	りんご
オーストラリア	りんご、なし
5%乳剤	
米国	りんご、なし、クラブアップル、びわ、サンザシ、セイヨウカリン、マルメロ、ぶどう、かんきつ、メロン、すいか、トマト、なす、ピーマン、とうがらし、おおぶどうほおずき、オクラ、棉、ホップ、ミント、アーモンド、ピスタチオ、その他のナッツ類、観賞植物、

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

II. 物理的・化学的性状

1. 有効成分の名称及び化学構造

1) 一般名

和名: フェンピロキシメート

英名: fenpyroximate (ISO名)

2) 別名

商品名: ダニトロン[®]、DANITRON

試験名: NNI-850、OX-53136

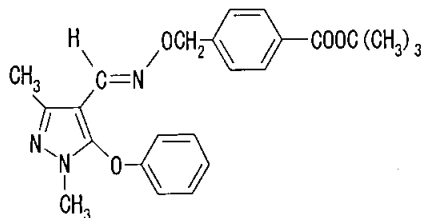
3) 化学名

和名: *tert*-ブチル(=E)- α -(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-*p*-トルアート

英名: *tert*-butyl (E)- α -(1,3-dimethyl-5-phenoxy-pyrazol-4-yl)methyleneaminoxy)-*p*-toluate (IUPAC名)

1,1-dimethylethyl (E)-4-[[[(1,3-dimethyl-5-phenoxy-1H-pyrazol-4-yl)methylene]amino]oxy]methyl] benzoate (CA名)

4) 構造式



5) 分子式: C₂₄H₂₇N₃O₄

6) 分子量: 421.50

7) CAS 番号: 111812-58-9

2. 有効成分の物理的・化学的性状

- | | |
|---------------------|--|
| 1) 外観・臭気 | 白色、固体(結晶)、無臭(目視、官能法) |
| 2) 密度 | 1.248g/cm ³ (20°C、比重瓶法) |
| 3) 融点 | 101.1~102.4°C(毛細管法) |
| 4) 沸点 | 約255°Cで分解のため測定不能(蒸留法) |
| 5) 蒸気圧 | 7.4 × 10 ⁻⁶ Pa(25°C、気体流動法) |
| 6) 溶解度 | |
| 水 | 0.015mg/L(20°C、pH7.5、カラム溶出法) |
| 有機溶媒 | ヘキサン:4g/L(25°C、フラスコ法)
キシレン:175g/L(25°C、フラスコ法)
トルエン:261g/L(25°C、フラスコ法)
ジクロロメタン:1342g/L(25°C、フラスコ法)
クロロホルム:1218g/L(25°C、フラスコ法)
アセトン:154g/L(25°C、フラスコ法)
メタノール:15g/L(25°C、フラスコ法)
エタノール:16g/L(25°C、フラスコ法)
アセトニトリル:40g/L(25°C、フラスコ法)
テトラヒドロフラン:737g/L(25°C、フラスコ法)
酢酸エチル:190g/L(25°C、フラスコ法) |
| 7) 解離定数(PKa) | 非解離(分光光度法) |
| 8) オクタノール/水
分配係数 | Log P _{o/w} =5.01(25°C、フラスコ振とう法) |
| 9) 生物濃縮性 | BCF=1842倍 |
| 10) 土壌吸着係数 | K _F ^{ads} =229~3800 K _{FOC} ^{ads} =44200~91600
(25°C、OECD 106法) |
| 11) 加水分解性: | 安定(pH4、7、9)(25°C、OECD 111法) |
| 12) 水中光分解性 | 蒸留水:T _{1/2} =2.8~3.1hr
(25°C、85.8W/m ² 、290~800nm)
自然水:T _{1/2} =12hr
(25°C、23.6~25.8W/m ² 、280~500nm)
(9農産第5089号法) |
| 13) 安定性 | 熱:安定(150°C、TG-DTA法) |
| 14) スペクトル | 図1~5(5~9頁) |

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

試験機関：

使用機器：二光束式分光光度計 UV-2200 (株)島津製作所

使用セル：石英セル 10×10×45mm

試験方法：OECD 101

供試濃度：9.99ppm

スリット幅：0.5 nm

測定波長：200~750 nm

セル長：10 mm

スキャン速度：180 nm/min(低速)

溶 媒	吸収波長(nm)	分子吸光係数(log ε)
メタノール(図1)	204.5	4.464
	233.5	4.368
	257.0	4.309
メタノール・蒸留水(1:9)*	203.0	—
	236.0	—
メタノール・1M 塩酸(1:9)*	204.0	—
	234.5	—
メタノール・1M NaOH(1:9)*	219.5	—
	235.5	—

*:フェンピロキシメートは水溶解度が低く、更には強酸性、強アルカリ性条件下では不安定であるのでλmaxのみを参考値として記載した。

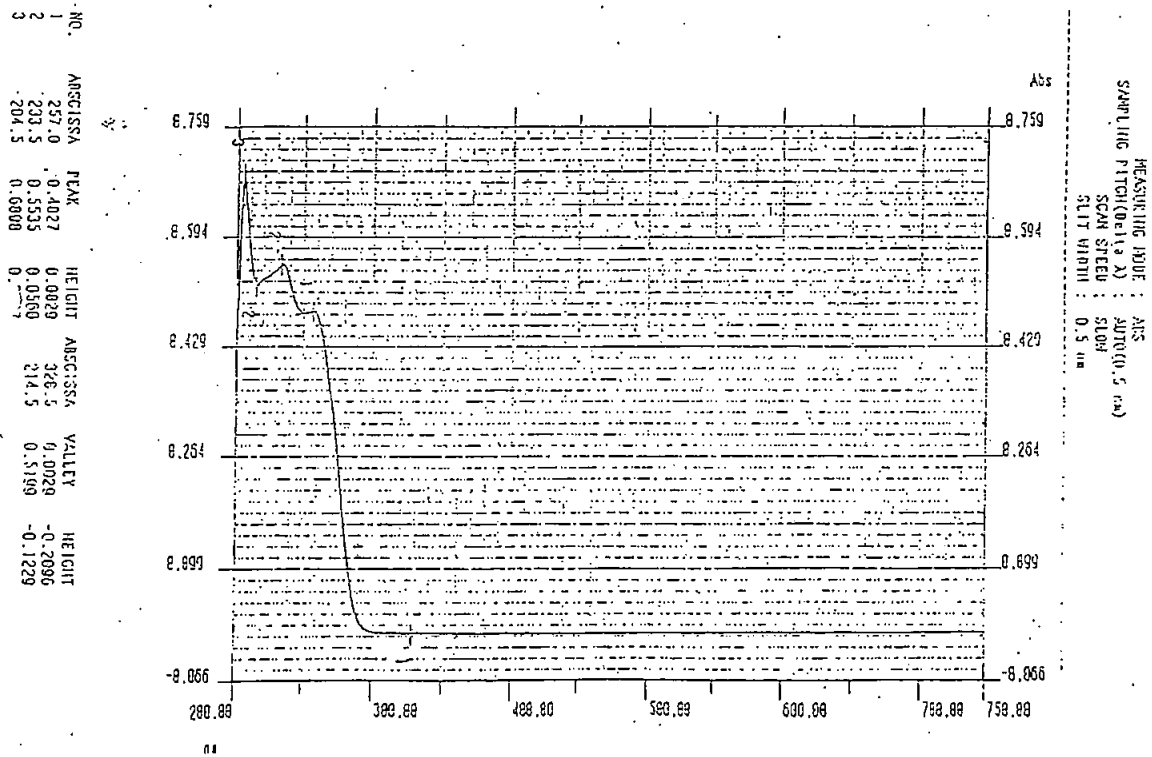


図1 フェンピロキシメートのUV/VISスペクトル(メタノール中)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

試験機関：

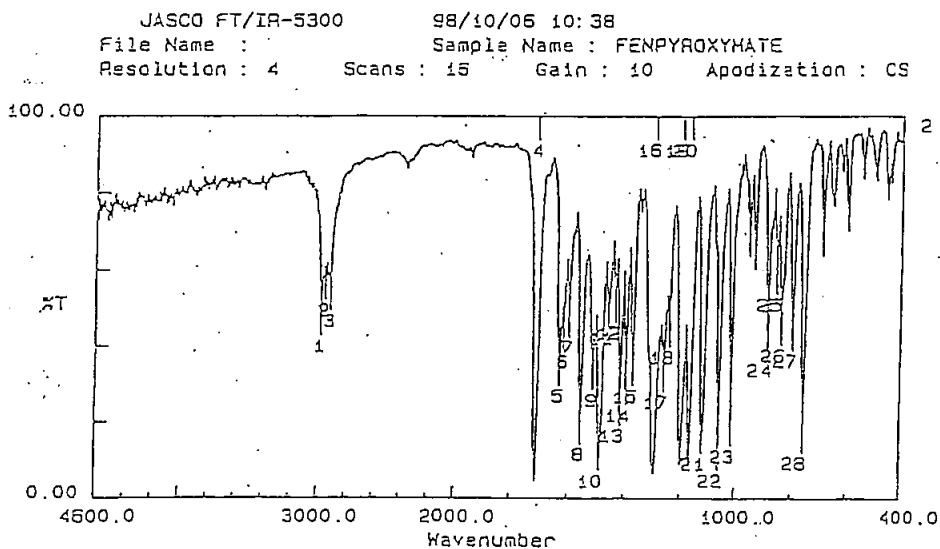
使用機器：赤外分光光度計 FT/IR-5300 (日本分光工業(株))

錠剤成形器 Mini press MP-1 (日本分光工業(株))

測定方法：KBr 錠剤法

測定波数：400~4600 cm^{-1} 分解能：4 cm^{-1}

波数(cm^{-1})	帰属
2982, 2949, 2910	C-H 伸縮
1707	エステル C=O 伸縮



Condition
 upper 60.00 lower 0.00 depth 2.00

Peak table

1: 2982.22 (48.9)	2: 2949.43 (58.2)	3: 2910.85 (55.4)	4: 1707.16 (4.7)
5: 1628.07 (35.7)	6: 1612.64 (44.8)	7: 1595.27 (48.6)	8: 1552.84 (20.4)
9: 1510.40 (34.5)	10: 1487.25 (13.4)	11: 1456.39 (51.1)	12: 1431.31 (52.4)
13: 1413.95 (25.3)	14: 1392.73 (30.7)	15: 1367.65 (35.7)	16: 1292.42 (6.5)
17: 1259.63 (34.2)	18: 1238.41 (46.0)	19: 1195.97 (9.0)	20: 1165.11 (7.2)
21: 1120.74 (18.0)	22: 1059.02 (13.5)	23: 1014.65 (19.9)	24: 881.55 (42.7)
25: 652.61 (59.9)	26: 835.25 (46.5)	27: 792.81 (45.1)	28: 756.16 (18.1)

図2 フェンピロキシメートのIRスペクトル

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

試験機関：

使用機器：核磁気共鳴装置（フルカー製、ARX-400）

測定溶媒：DMSO-d₆

基準物質：テトラメチルシラン(TMS)

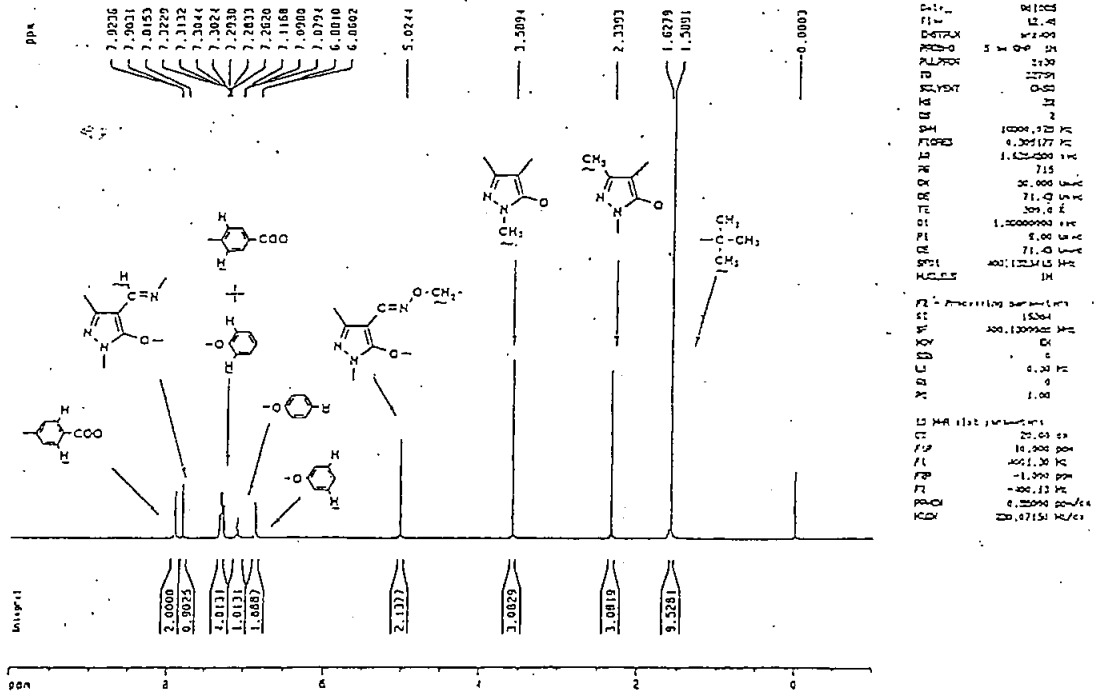


図3 フェンプロキシメートの¹H-NMRスペクトル

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

試験機関：
 使用機器：核磁気共鳴装置（ブルーカ-製、ARX-400）
 測定溶媒：重クロロホルム

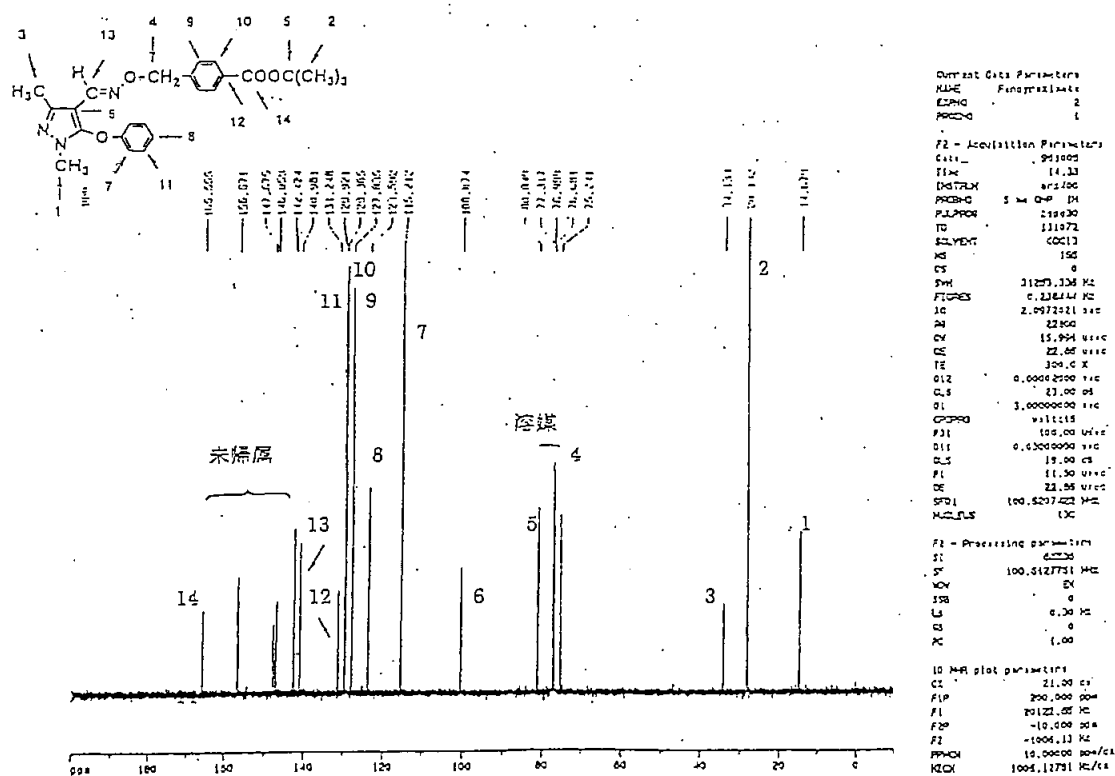


図4 フェンプロキシメートの¹³C-NMRスペクトル

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

試験機関：

使用機器：質量分析計 JMS-DX-300 (日本電子(株))

試料導入：直接導入法(フロー温度、50~300°C、64°C/min 昇温)

イオン化：EI法 分解能：1000 加速電圧：3kV

スキャン範囲：m/z 50-1000

イオン化電圧：70 V イオン化電流：300 μ A

イオン化源温度：270°C

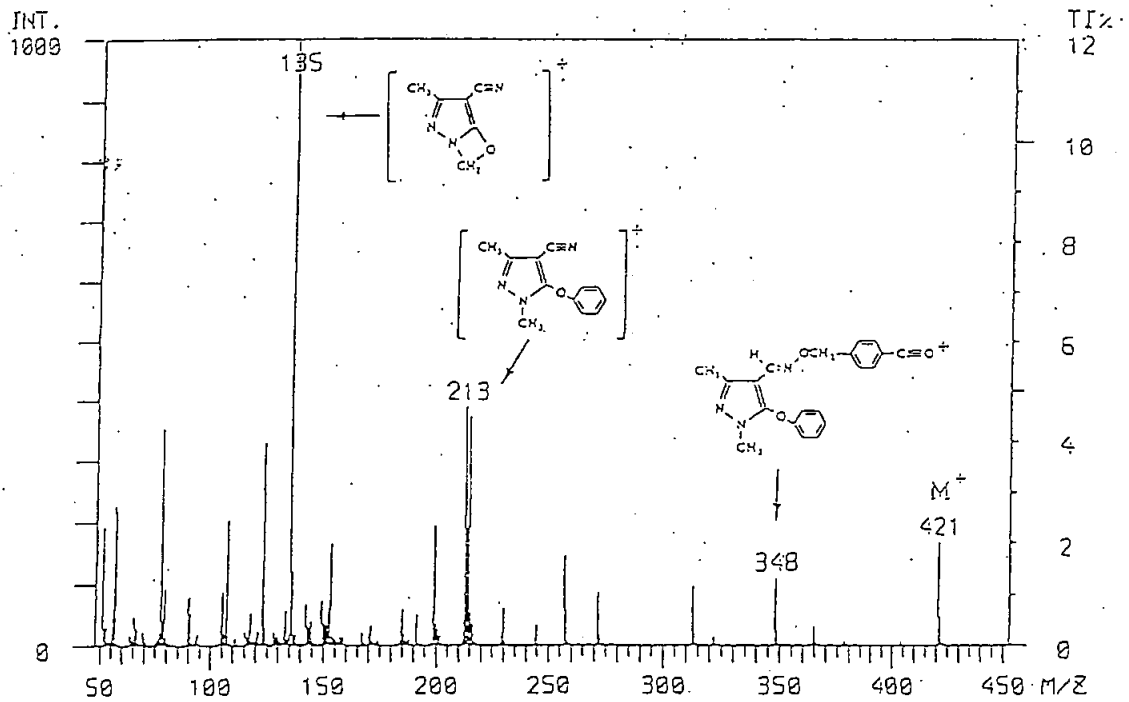


図5 フェンプロキシメートの Mass スペクトル

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	レンジ
有効成分	フェンピロキシメート	<i>tert</i> -ブチル(=E)- α -(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-プロピルアト		$C_{24}H_{27}N_3O_4$	421.50		
原体混在物							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

(続き)

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量(%)	
	一般名	化学名				規格値	レンジ
原体混在物							

4. 製剤の組成

(1) 5%水和剤(フロアブル)

フェンピロキシメート	5.0%
水、界面活性剤 等	95.0%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

Ⅲ. 生物活性

1. 活性の範囲

フェンピロキシメートは、ダニ目ではハダニ科、フシダニ科及びホコリダニ科に対して特に高い殺ダニ活性を示し、半翅目に対してもアブラムシ科、ウンカ科、ヨコバイ科及びヒメヨコバイ科に活性が認められている。日本植物防疫協会に試験委託した結果、1989年までにりんごのリンゴハダニ、ナミハダニ、かんきつのみカンハダニ、ミカンサビダニ、茶のカンザワハダニ、その他の果樹、野菜、花卉のハダニ類に対し実用的な防除効果が確認されている。さらに、カイガラムシ類にも活性を示し、茶のクワシロカイガラムシに実用的な効果を示すことが確認された。

2. 作用機構

フェンピロキシメートのダニ類に対する主な作用は次の通りである。

- (1) ダニの各ステージに対して低薬量で高い活性を示す。
- (2) ステージ別にみた活性は幼虫>若虫>成虫>卵の順である。
- (3) 成幼若虫のいずれに対しても速効的なノックダウン様の作用を示し、加害、産卵を阻止する。
- (4) 幼若虫では静止時(脱皮期)に効く遅効的な作用も示す。
- (5) 他のステージへの作用に比べるとやや劣るが殺卵作用も認められる。
- (6) 植物への浸透・移行による活性発現はない。
- (7) 既存の各種ダニ剤に抵抗性を示すハダニのいずれの系統に対しても、感受性系統と変わらない高い活性を示す。

3. 作用特性と防除上の利点等

フェンピロキシメートはダニ類の成虫・幼若虫・卵に対して速効的に作用するとともに、幼若虫を静止期に死亡させる作用も持っている。これらの総合的な結果として長期間にわたる密度抑制効果が期待できる。

また、特に問題視されている薬剤抵抗性関係では既存殺ダニ剤のいずれとも交差抵抗性の心配はなく、抵抗性発達地域でも有効に利用できる。

多くの果樹、野菜、茶及び花卉等に対して薬害を示さず、幅広い作物に使用できる。

IV. 適用及び使用上の注意

1. 適用病害虫の範囲及び使用方法

1) 種類: フェンピロキシメート(5.0%)水和剤

名称: ダニトロンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数			
りんご	リンゴハダニ ナミハダニ	1000～ 2000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回			
	リンゴサビダニ	2000倍								
かんきつ	ミカンハダニ	1000～ 2000倍		収穫7日前まで						
	ミカンサビダニ	2000倍								
なし	ハダニ類 ニセナシサビダニ	1000～ 2000倍		収穫14日前まで						
もも ネクタリン	ハダニ類							1000倍	収穫7日前まで*	2回 以内*
ぶどう										
アセロラ ホップ		1000～ 2000倍		収穫7日前まで				1回	1回	
おうとう										
かき びわ	イチジクモンサビダニ	2000倍		収穫3日前まで				1回	1回	
いちじく										
キウイフルーツ	ハダニ類 チャノホコリダニ	1000～ 2000倍		収穫前日まで				1000 L/10a	2回 以内*	2回以内*
チェリモヤ	カンザワハダニ	2000倍		収穫30日前まで						
茶	クワシロカイガラムシ	1000倍		400 L/10a				摘採7日前まで*	2回 以内*	2回以内*
	カンザワハダニ チャノミドリヒメコハイ チャノホソガ チャノホコリダニ									
あずき だいず いんげんまめ えんどうまめ べにばないん げん	ハダニ類	1000～ 2000倍	150～300 L/10a	収穫7日前まで	1回	1回				
豆類(未成熟、 ただし、さやい んげんを除く)	チャノホコリダニ	1000倍								
さやいんげん	ハダニ類	1000～ 2000倍		収穫前日まで						
にがうり		2000倍		収穫3日前まで						

*適用拡大申請中

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメトを含む農薬の総使用回数				
いちご	ハダニ類	1000～2000倍	150～300 L/10a	収穫前日まで	1回	散布	1回				
すいか メロン		2000倍					3回以内*	3回以内*			
きゅうり なす								3回以内*			
ピーマン		1000～2000倍*		2000倍	150～300 L/10a		収穫7日前まで	1回	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する		
モロヘイヤ		収穫21日前まで									
ほうれんそう		収穫28日前まで									
しそ		みょうが(花穂)					収穫前日まで				
はすいも(葉柄)										みょうが(莖葉)	みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで
食用さくら(葉)											
てんさい		ナミハダニ					100～300 L/10a			100～300 L/10a	収穫7日前まで
カーネーション	ハダニ類	1000～2000倍	150～300 L/10a	発生初期							
きく											
ばら											
宿根かすみそう トルコギキョウ											
うめ*	ハダニ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで	1回	散布	2回以内				
トマト* ミニトマト*	コナジラミ類	1000～2000倍	150～300 L/10a	収穫前日まで			3回以内				
	トマトサビダニ	1000倍					2回以内				
とうがらし類*	ハダニ類	2000倍						2回以内			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2) 種類: フェンピロキシメート(4.0%) + ブプロフェジン(20.0%)水和剤

名称: アプロードエースフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数	ブプロフェジンを含む農薬の総使用回数							
みかん	カイガラムシ類	1000倍	200~700 L/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回	3回以内							
	ミカンサビダニ	1000~2000倍													
	チャノホコリダニ	2000倍													
かんきつ (みかんを除く)	カイガラムシ類	1000倍		収穫21日前まで					1回	1回	3回以内				
	ミカンサビダニ	1000~2000倍													
	チャノホコリダニ	2000倍													
もも	カイガラムシ類	1000倍		収穫7日前まで*					2回以内*	2回以内*	2回以内				
ネクタリン				収穫14日前まで											
いちじく				収穫14日前まで											
キウイフルーツ	カイガラムシ類 キウ化メコバイ	1000~2000倍		100~300 L/10a					収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内		
トマト	コナジラミ類		1000~2000倍												
	トマトサビダニ		1000倍												
なす	コナジラミ類		1000~2000倍												
	チャノホコリダニ		1000倍												
きゅうり	コナジラミ類		1000~2000倍												
すいか メロン			1000~2000倍												
茶	クワシロカイガラムシ 若齢幼虫		1000倍		1000 L/10a	摘採14日前まで*	2回以内*	散布						2回以内*	2回以内
	チャノミドリヒメコバイ チャノホソガ チャノホコリダニ チャノナガサビダニ チャトケコナジラミ				200~400 L/10a										
	ポインセチア ガーベラ				100~300 L/10a										
	うめ*	200~700 L/10a		収穫7日前まで	2回以内				2回以内	2回以内					
とうがらし類*	100~300 L/10a	収穫前日まで													

* 適用拡大申請中

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

3) 種類:フェンピロキシメート(5.0%) + ピフルブミド(15.0%)水和剤

名称:ダブルフェースフロアブル

<新規申請中>

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピフルブミドを含む農薬の総使用回数	フェンピロキシメートを含む農薬の総使用回数																						
茶	チャノホコリダニ	2000~3000倍	200~400 L/10a	摘採7日前まで	1回	散布	1回	2回以内																						
かんきつ	ミカンハダニ		200~700 L/10a	収穫前日まで					発生初期	6回以内																				
	ミカンサビダニ	2000倍	100~300 L/10a					3回以内																						
なす	ハダニ類										2000倍	100~300 L/10a	3回以内																	
すいか														ハダニ類	2000倍	100~300 L/10a	3回以内													
メロン																		ハダニ類	2000倍	100~300 L/10a	3回以内									
きゅうり																						ハダニ類	2000倍	100~300 L/10a	3回以内					
ピーマン																										ハダニ類	2000倍	100~300 L/10a	3回以内	
いちご																														ハダニ類
さやいんげん		ハダニ類	2000倍					100~300 L/10a																						
あずき	ハダニ類			2000倍	100~300 L/10a	3回以内																								
花き類・観葉植物							ハダニ類		2000倍	100~300 L/10a	3回以内																			

2. 使用上の注意事項

1) 種類:フェンピロキシメート(5.0%)水和剤

名称:ダニトロンフロアブル

- (1) 本剤は静置時は粘度が高いが、振れば粘度が下がるので、使用前には数回軽く瓶を振ってから使用すること。
- (2) 石灰硫黄合剤との混用は避けること。
- (3) 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布すること。
- (4) ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布すること。
- (5) ハダニ類は薬剤抵抗性が発達し易いので、年1回の散布とし、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用すること。
- (6) 花卉類では花に薬害を生じる場合があるので、花や蕾に薬剤が付着するおそれのある時期には使用を避けること。
- (7) 蚕に長期間毒性があるので、桑葉にかからないように注意すること。
- (8) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、調節すること。
- (9) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

- (10) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

2) 種類:フェンピロキシメート(4.0%) + ブプロフェジン(20.0%)水和剤

名称:アプロードエースフロアブル

- (1) 使用前に容器を軽く振ること。
(2) 本剤の散布適期は、幼虫が優占する時期であり、多発時及び成虫が多い時期には直ちに密度を低下させることができないので、殺成虫効果があり速効性の薬剤と組み合わせて使用することが望ましい。
(3) 蚕に長期間毒性があるので、桑葉にかからないように注意すること。
(4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
(5) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3) 種類:フェンピロキシメート(5.0%) + ピフルブミド(15.0%)水和剤

名称:ダブルフェースフロアブル

- (1) 石灰硫黄合剤、ボルドー液などアルカリ性薬剤との混用を避けること。
(2) 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布すること。
(3) ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布すること。
(4) ハダニ類は薬剤抵抗性が発達し易いので、年1回の散布とし、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用すること。
(5) 花き類では花に薬害を生じる場合があるので、花や蕾に薬剤が付着するおそれのある時期には使用を避けること。
(6) 蚕に長期間毒性があるので、桑葉にかからないように注意すること。
(7) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、調節すること。
(8) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
(9) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

3. 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

1) 種類:フェンピロキシメート(5.0%)水和剤

名称:ダニトロンフロアブル

- (1) 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
養殖池周辺での使用を避けること。
- (2) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

2) 種類:フェンピロキシメート(4.0%) + ププロフェジン(20.0%)水和剤

名称:アプロードエースフロアブル

- (1) 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
養殖池周辺での使用は避けること。
- (2) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

3) 種類:フェンピロキシメート(5.0%) + ピフルブミド(15.0%)水和剤

名称:ダブルフェースフロアブル

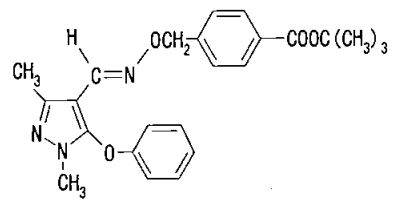
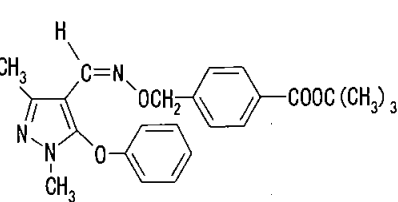
- (1) 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係

1. 作物残留

(1) 分析法の原理と操作概要

(2) 分析対象化合物

名称	化学名・構造式(略称)	分子式 (分子量)	代謝経路図 中での記号
フェンピロキシメート	<p><i>tert</i>-ブチル=(<i>E</i>)-α-(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-<i>p</i>-トルアート</p>  <p>(NNI-850)</p>	$C_{24}H_{27}N_3O_4$ (421.50)	A
Z-異性体	<p><i>tert</i>-ブチル=(<i>Z</i>)-α-(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-<i>p</i>-トルアート</p> 	$C_{24}H_{27}N_3O_4$ (421.50)	B

(3) 残留試験結果

次頁以降に示す。

作物名 (栽培形態)	剂型 有効成分量	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)											
					公的分析機関						社内分析機関					
					フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体			フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体		
					最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*
大豆 (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	北海道 中央農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	7	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	14	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	21	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01			
[乾燥子実]	1000倍 150 L/10a 散布	長野 中信農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	7	0.012	<0.005	0.02	<0.005	<0.005	0.02	0.010	<0.005	0.02			
			1	14	0.011	<0.005	0.02	<0.005	<0.005	0.02	0.008	<0.005	0.01			
			1	21	0.012	<0.005	0.02	<0.005	<0.005	0.02	0.010	<0.005	0.02			
あずき (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	長野 農総試	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	7	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	14	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	21	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
[乾燥子実]	1000倍 200 L/10a 散布	石川植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	7	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	14	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	21	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
いんげんまめ (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	北海道 植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	7	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	14	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	21	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
[乾燥子実]	1000倍 200 L/10a 散布	石川 河北潟 営農 センター	0	-	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	7	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	14	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	21	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			

*: 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)											
					公的分析機関					社内分析機関						
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計		フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値	合計	最高値	平均値	最高値	平均値	合計		
べにばな いんげん (露地) [子実] 平成16年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 150 L/10a 散布	北海道立北 見農試(摺 辺薬町)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
		北海道立中 央農試(洞 爺村)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	6	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
えんどうまめ (施設) [乾燥子実] 平成3年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 200 L/10a 散布	千葉暖地 園芸試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
			2	7	0.019	0.019	<0.005	0.02*	0.025	0.024	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03*	
			2	14	0.005	0.005	<0.005	0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
		和歌山 農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
			2	7	0.018	0.017	<0.005	0.02*	0.022	0.021	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03*
			2	14	0.013	0.012	<0.005	0.02*	0.011	0.010	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.02*
てんさい (露地) [根] 平成12年度	5%水和剤 (フロアブル) 2000倍 100 L/10a 散布	北海道 植防協会 (札幌)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
			1	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
			1	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
		北海道 植防協会 (音更)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
			1	6	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
			1	13	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
1	20	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*		

*: 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用方法	試料調 製場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分 析 値 (ppm)											
					公 的 分 析 機 関					社 内 分 析 機 関						
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値	合計	最高値	平均値	最高値	平均値	合計		
トマト (施設) [果実] 平成7年度	**4%水和剤 (フロアブル) 2000倍 215,300 L/10a 散 布	日植防研 (牛久)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
			3	1	0.104	0.104	<0.005	<0.005	0.11*	0.131	0.122	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.13*
			3	3	0.061	0.061	<0.005	<0.005	0.07*	0.129	0.127	0.008	0.008	0.008	0.008	0.14*
			3	7	0.065	0.064	<0.005	<0.005	0.07*	0.107	0.106	0.008	0.008	0.008	0.008	0.11*
	**4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 215,300 L/10a 散 布	日植防研 (牛久)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
			3	1	0.120	0.120	0.006	0.006	0.13*	0.112	0.111	0.007	0.006	0.006	0.12*	
			3	3	0.113	0.112	0.006	0.006	0.12*	0.076	0.076	<0.005	<0.005	<0.005	0.08*	
			3	7	0.062	0.062	0.005	0.005	0.07*	0.083	0.080	<0.005	<0.005	<0.005	0.09*	
	**4%水和剤 (フロアブル) 2000倍 300 L/10a 散 布	日植防研 宮崎農場	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
			3	1	0.097	0.097	0.006	0.006	0.10*	0.108	0.107	0.012	0.010	0.010	0.12*	
			3	3	0.053	0.053	0.005	0.005	0.06*	0.116	0.112	0.013	0.012	0.012	0.12*	
			3	7	0.062	0.062	0.006	0.006	0.07*	0.117	0.110	0.010	0.009	0.009	0.12*	
ミニトマト (施設) [果実] 平成20年度	**4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散 布	日植防研 宮崎農場	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
			3	1	0.095	0.095	0.007	0.007	0.10*	0.101	0.096	0.011	0.010	0.010	0.11*	
			3	3	0.087	0.087	0.008	0.008	0.10*	0.059	0.058	0.008	0.008	0.008	0.07*	
			3	7	0.083	0.083	0.012	0.012	0.10*	0.065	0.062	0.006	0.006	0.006	0.07*	
	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 333 L/10a 散 布	岩手植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.010	
			3	1	0.195	0.192	<0.005	<0.005	0.20	0.216	0.215	<0.005	<0.005	<0.005	0.220	
			3	7	0.209	0.202	<0.005	<0.005	0.21	0.203	0.202	<0.005	<0.005	<0.005	0.207	
			3	14	0.166	0.166	0.006	0.006	0.17	0.194	0.189	<0.005	<0.005	<0.005	0.194	
	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 200~300 L/10a 散 布	福島植防 (郡山)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.010	
			3	1	0.184	0.184	<0.005	<0.005	0.19	0.142	0.118	<0.005	<0.005	<0.005	0.123	
			3	7	0.194	0.193	0.007	0.007	0.20	0.082	0.080	<0.005	<0.005	<0.005	0.085	
			3	14	0.134	0.130	0.006	0.006	0.14	0.091	0.080	<0.005	<0.005	<0.005	0.085	

* : 合計値は申請者が算出した。

** : アブロードエースフロアブル(フェンピロキシメート 4.0% + ブプロフェジン 20.0%)

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試験料調 製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)															
					公 的 分 析 機 関						社 内 分 析 機 関									
					フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体			フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体						
					最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*				
ピーマン (施設) [果実] 平成元年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 150 L/10a(宮城) 200 L/10a(長野) 散 布	宮城植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	1	0.132	0.130	0.007	0.006	0.14	0.141	0.124	0.008	0.007	0.13	0.007	0.007	0.13			
			1	3	0.117	0.102	0.005	0.005	0.11	0.063	0.057	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.06	<0.005	<0.005	0.06
			1	7	0.069	0.064	0.005	0.005	0.07	0.087	0.071	0.008	0.007	0.008	0.007	0.08	0.007	0.007	0.08	
	5%水和剤 (フロアブル) 2000倍 200 L/10a 散 布	長野 中信農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	1	0.099	0.092	<0.005	<0.005	0.10	0.086	0.080	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.09	<0.005	<0.005	0.09	
			1	3	0.055	0.055	<0.005	<0.005	0.06	0.075	0.068	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.07	<0.005	<0.005	0.07	
			1	7	0.050	0.048	<0.005	<0.005	0.05	0.047	0.038	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.04	<0.005	<0.005	0.04	
ピーマン (施設) [果実] 平成3年度	5%水和剤 (フロアブル) 2000倍 200 L/10a 散 布	長野 中信農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	1	0.052	0.051	<0.005	<0.005	0.06	0.045	0.044	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	<0.005	<0.005	0.05		
			1	3	0.037	0.036	<0.005	<0.005	0.04	0.041	0.040	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	<0.005	<0.005	0.05	
			1	7	0.029	0.028	<0.005	<0.005	0.03	0.032	0.030	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.04	<0.005	<0.005	0.04	
	5%水和剤 (フロアブル) 2000倍 300 L/10a(高知) 200 L/10a(宮崎) 散 布	日植防研 (高知)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	1	0.129	0.126	<0.005	<0.005	0.13	0.111	0.107	<0.005	<0.005	<0.005	0.11	<0.005	<0.005	0.11		
			1	3	0.107	0.107	<0.005	<0.005	0.11	0.089	0.086	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.09	<0.005	<0.005	0.09	
			1	7	0.066	0.066	<0.005	<0.005	0.07	0.076	0.071	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.08	<0.005	<0.005	0.08	
日植防研 (宮崎)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.01			
	1	1	0.104	0.100	<0.005	<0.005	0.11	0.086	0.084	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.09	<0.005	<0.005	0.09			
	1	3	0.086	0.083	<0.005	<0.005	0.09	0.079	0.078	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.08	<0.005	<0.005	0.08			
	1	7	0.071	0.069	<0.005	<0.005	0.07	0.065	0.059	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.06	<0.005	<0.005	0.06			

*: 合計値は申請者が算出した。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調 製場所	使用回 数	経過日 数	分析値 (ppm)													
					公的分析機関					社内分析機関								
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*				
[分析部位] 年度	**4%水和剤 (フロアブル) 1600倍 200 L/10a 散布	群馬植防	0	-	最高値	<0.005	平均値	<0.005	最高値	<0.005	平均値	<0.005	最高値	<0.005	平均値	<0.005	合計*	<0.01
	3		1	0.038	0.038	<0.005	<0.005	0.066	0.066	<0.005	0.066	<0.005	<0.005	0.07				
	3		1	0.068	0.068	<0.005	<0.005	0.116	0.112	<0.005	0.112	<0.005	<0.005	0.12				
なす (施設)	**4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 200 L/10a 散布	群馬植防	3	3	0.032	0.032	<0.005	<0.005	0.041	0.040	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05		
	3		7	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.022	0.022	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03				
	0		-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01			
[果実] 平成9年度	**4%水和剤 (フロアブル) 1600倍 300, 350 L/10a 散布	日植防研 宮崎農場	3	1	0.080	0.078	<0.005	<0.005	0.159	0.158	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.16		
	3		1	0.136	0.136	<0.005	<0.005	0.200	0.198	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.20				
	3		3	0.109	0.108	<0.005	<0.005	0.148	0.148	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.15				
	**4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300, 350 L/10a 散布		3	7	0.021	0.021	<0.005	<0.005	0.046	0.042	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05			

*: 合計値は申請者が算出した。

** : アブロードエースフロアブル(フェンピロキシメート 4.0% + ププロフェジン 20.0%)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用回 数	経 過 日 数	分 析 値 (ppm)	
					公 的 分 析 機 関	
					フェンピロキシメート(E-体)とZ-異性体の合計	
					最高値	平均値
甘長 とうがらし (施設) [果実] 平成18年度	*4%水和剤 (フロアブル) 800倍 200 L/10a 散布	京都 農総研	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	0.14	0.14
			2	3	0.10	0.10
			2	7	0.08	0.08
甘長 とうがらし (施設) [果実] 平成19年度	*4%水和剤 (フロアブル) 800倍 200 L/10a 散布	京都 農総研	0	-	<0.01	<0.01
			3	1	0.37	0.37
			3	3	0.16	0.16
			3	7	0.13	0.13
甘長 とうがらし (施設) [果実] 平成19年度	*4%水和剤 (フロアブル) 800倍 200 L/10a 散布	京都 農総研	0	-	<0.01	<0.01
			1	1	0.53	0.50
			1	3	0.37	0.36
			1	7	0.20	0.19
甘長 とうがらし (施設) [果実] 平成19年度	*4%水和剤 (フロアブル) 800倍 200 L/10a 散布	京都 農総研	0	-	<0.01	<0.01
			2	1	0.67	0.66
			2	3	0.50	0.48
			2	7	0.24	0.24

*: アブロードエースフロアブル(フェンピロキシメート4.0% + プロフェンジン20.0%)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剂 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料調 製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値(ppm)				
					公 的 分 析 機 関				
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計
最高値	平均値	最高値	平均値						
ししとう (施設) [果実] 平成19年度	*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散布	高知農技 センター	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			2	1	0.751	0.744	0.025	0.024	0.77
			2	3	0.465	0.452	0.029	0.028	0.48
			2	7	0.181	0.179	0.018	0.018	0.20
ししとう (施設) [果実] 平成21年度	*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 284 L/10a 散布	日植防研 高知	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			2	1	0.716	0.706	0.011	0.010	0.72
			2	3	0.682	0.664	0.015	0.015	0.68
			2	7	0.285	0.282	0.008	0.008	0.29

*: アブロードエースフロアブル(フェンピロキシメート4.0% + ププロフェジン20.0%)

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剂 型 有効成分量 希釈倍数 使用方法	試験調 製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)									
					公 的 分 析 機 関					社 内 分 析 機 関				
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値	
きゅうり (施設)	5%水和剤 (フロアブル)	群馬 農総試 (東部分場)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	1	0.060	0.058	<0.005	<0.005	0.06	0.031	0.028	<0.005	<0.005	0.03
			1	3	0.030	0.029	<0.005	<0.005	0.03	0.028	0.028	<0.005	<0.005	0.03
	1000倍 200 L/10a 散 布	高知農林 技術研	1	0	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	1	0.106	0.105	<0.005	<0.005	0.11	0.086	0.084	0.006	0.006	0.09
			1	3	0.026	0.026	<0.005	<0.005	0.03	0.021	0.020	<0.005	<0.005	0.03
〔果 実〕 平成元年度	5%水和剤 (フロアブル)	群馬 農総試 (東部分場)	1	0	0.006	0.006	<0.005	<0.005	0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	3	0.014	0.014	<0.005	<0.005	0.02	0.009	0.008	<0.005	<0.005	0.01
	2000倍 200 L/10a 散 布	高知農林 技術研	1	0	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	0.009	0.007	<0.01
			1	1	0.041	0.040	<0.005	<0.005	0.05	0.050	0.038	<0.005	<0.005	0.04
			1	3	0.012	0.010	<0.005	<0.005	0.02	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
1	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		

*: 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*
					最高値	平均値	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	最高値	平均値	合計*
きゅうり (施設)	*4%水和剤 (フロアブル) 1600倍 200 L/10a 散布	千葉農試 (北堂農 技術指)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			3	1	0.048	<0.005	<0.005	0.05	0.062	0.061	<0.005	<0.005	0.07	
	*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 200 L/10a 散布	千葉農試 (北堂農 技術指)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			3	1	0.118	<0.005	<0.005	0.12	0.111	0.110	<0.005	<0.005	0.12	
			3	3	0.067	<0.005	<0.005	0.07	0.077	0.076	<0.005	<0.005	0.08	
	*4%水和剤 (フロアブル) 250,300 L/10a 散布	千葉農試 (北堂農 技術指)	3	7	0.015	<0.005	<0.005	0.02	0.022	0.022	<0.005	<0.005	<0.005	0.03
	[果実] 平成9年度	*4%水和剤 (フロアブル) 1600倍 250,300 L/10a 散布	日植防研 宮崎農場	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
3				1	0.053	<0.005	<0.005	0.06	0.058	0.057	<0.005	<0.005	0.06	
*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 250,300 L/10a 散布		日植防研 宮崎農場	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			3	1	0.091	<0.005	<0.005	0.10	0.087	0.086	<0.005	<0.005	0.09	
			3	3	0.049	<0.005	<0.005	0.05	0.046	0.046	<0.005	<0.005	0.05	
*4%水和剤 (フロアブル) 250,300 L/10a 散布		日植防研 宮崎農場	3	7	0.018	<0.005	<0.005	0.02	0.019	0.019	<0.005	<0.005	<0.005	0.02
きゅうり (施設)		*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 200 L/10a 散布	群馬植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
	3			1					0.078	0.076	<0.005	<0.005	0.08	
	*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散布	愛知農試 (安城 農技セン)	3	3					0.034	0.032	<0.005	<0.005	0.04	
			3	7					0.010	0.010	<0.005	<0.005	0.02	
			3	7					<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
	*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散布	愛知農試 (安城 農技セン)	0	-					<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
	*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散布	愛知農試 (安城 農技セン)	3	1					0.183	0.182	<0.005	<0.005	<0.005	0.19
*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散布	愛知農試 (安城 農技セン)	3	3					0.082	0.081	<0.005	<0.005	<0.005	0.09	
*4%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散布	愛知農試 (安城 農技セン)	3	7					0.026	0.026	<0.005	<0.005	<0.005	0.03	

*: 合計値は申請者が算出した。

** : アブロードエースフロアブル(フェンピロキシメート4.0% + プロプロフェジン20.0%)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)											
					公的分析機関						社内分析機関					
					フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体			フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体		
最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*					
すいか (施設) [果実] 平成元年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 200 L/10a(新潟) 100 L/10a(奈良) 散布	新潟 県園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
メロン (施設) [果実] 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a (日植防研) 350 L/10a(高知) 散布	奈良農試 (高原)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
メロン (施設) [果実] 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a (日植防研) 350 L/10a(高知) 散布	日植防研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01			
			1	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01			

*: 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*
最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値						
ほうれんそう (施設)	5%水和剤 (フロアブル)	岐阜植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			1	7	1.66	1.66	0.01	0.01	1.67	2.22	2.20	0.02	0.02	2.22
			1	14	1.33	1.32	0.01	0.01	1.33	1.24	1.19	0.01	0.01	1.20
			1	21	0.06	0.06	<0.01	<0.01	0.07	0.16	0.14	<0.01	<0.01	0.15
			1	28	0.07	0.07	<0.01	<0.01	0.08	0.06	0.05	<0.01	<0.01	0.06
【莖葉】 平成5年度	2000倍 150 L/10a 散布	日植防研 (高知)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
			1	7	1.01	1.01	0.02	0.02	1.03	0.93	0.92	0.02	0.02	0.94
			1	14	0.40	0.40	0.04	0.04	0.44	0.27	0.26	<0.01	<0.01	0.27
			1	21	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02
			1	28	<0.01	<0.01	0.03	0.03	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
さやえんどう (施設)	5%水和剤 (フロアブル)	千葉暖地 園芸試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	0.088	0.086	<0.005	<0.005	0.09	0.154	0.151	<0.005	<0.005	0.15
			1	14	0.070	0.067	<0.005	<0.005	0.07	0.059	0.058	<0.005	<0.005	0.06
			1	21	0.010	0.010	<0.005	<0.005	0.02	0.024	0.022	<0.005	<0.005	0.03
			1	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
[さや] 平成3年度	1000倍 200 L/10a 散布	和歌山 農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	0.101	0.096	<0.005	<0.005	0.10	0.110	0.108	<0.005	<0.005	0.11
			1	14	0.048	0.045	<0.005	<0.005	0.05	0.032	0.032	<0.005	<0.005	0.04
			1	21	0.011	0.011	<0.005	<0.005	0.02	0.018	0.018	<0.005	<0.005	0.02
			1	28	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.02	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.02

*: 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調 製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)									
					公 的 分 析 機 関					社 内 分 析 機 関				
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*
最高値	平均値	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	最高値	平均値	合計*					
さやいんげん (施設)	5%水和剤 (フロアブル)	福島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	1	0.115	0.112	<0.005	<0.005	0.12	0.120	0.118	<0.005	<0.005	0.12
			1	3	0.098	0.096	<0.005	<0.005	0.10	0.080	0.076	<0.005	<0.005	0.08
			1	7	0.024	0.023	<0.005	<0.005	0.03	0.027	0.026	<0.005	<0.005	0.03
[さや]	1000倍 200 L/10a 散 布	長野植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	1	0.206	0.204	<0.005	<0.005	0.21	0.143	0.141	<0.005	<0.005	0.15
			1	3	0.259	0.258	0.006	0.006	0.26	0.276	0.268	0.010	0.010	0.28
			1	7	0.045	0.044	<0.005	<0.005	0.05	0.038	0.037	<0.005	<0.005	0.04
えだまめ (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	北海道 中央農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	7	0.197	0.186	0.028	0.026	0.21	0.200	0.186	0.026	0.024	0.21
			1	14	0.142	0.138	0.026	0.024	0.16	0.129	0.118	0.021	0.020	0.14
			1	21	0.036	0.034	0.007	0.006	0.04	0.030	0.028	0.006	0.006	0.03
[さや]	1000倍 150 L/10a 散 布	長野 中信農試	1	28	0.027	0.026	0.005	0.005	0.03	0.023	0.022	0.006	0.006	0.03
			0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	7	0.432	0.428	0.011	0.010	0.44	0.653	0.626	0.015	0.014	0.64
			1	14	0.290	0.272	0.014	0.014	0.29	0.254	0.242	0.011	0.011	0.25
平成元年度			1	21	0.040	0.038	0.005	0.005	0.04	0.072	0.070	0.008	0.008	0.08
			1	28	0.037	0.032	0.005	0.005	0.04	0.036	0.034	0.006	0.006	0.04

*: 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調製場所	経過 使用回数	分析値 (ppm)															
				公的分析機関						社内分析機関									
				フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体			合計*			フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体			合計*
				最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	
モロヘイヤ [莖葉] 平成5年度	5%水和剤 (フロアブル)	秋田農試 (秋田)	0	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.06	<0.005	<0.005	0.008	0.007	0.01				
			1	3.94	3.93	0.05	0.05	3.98	2.486	2.422	0.037	0.034	2.46						
			3	3.47	3.46	0.07	0.06	3.52	2.027	1.981	0.047	0.044	2.03						
			7	1.45	1.44	0.04	0.04	1.48	1.527	1.481	0.056	0.056	1.54						
			14	0.57	0.56	<0.03	<0.03	0.59	0.643	0.628	0.028	0.028	0.66						
			0	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.06	<0.005	<0.005	0.005	0.005	0.01						
ハスイモ (施設) [葉柄] 平成16年度	5%水和剤 (フロアブル)	秋田農試 (大曲)	1	3.19	3.16	<0.03	<0.03	3.19	1.304	1.269	0.019	0.018	1.29						
			3	1.76	1.74	<0.03	<0.03	1.77	2.666	2.610	0.055	0.052	2.66						
			7	0.86	0.83	<0.03	<0.03	0.86	0.788	0.765	0.037	0.036	0.80						
			14	0.31	0.30	<0.03	<0.03	0.33	0.797	0.773	0.014	0.014	0.79						
			0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1						
			1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1						
食用さくら(葉) (露地) [葉部] 平成17年度	5%水和剤 (フロアブル)	静岡県農試 (松崎)	1	2.32	2.32	0.08	0.08	2.40	0.08	0.08	2.40								
			7	1.49	1.40	0.10	0.10	1.50	0.10	0.10	1.50								
			14	1.72	1.58	0.17	0.16	1.74	0.16	0.16	1.74								
			21	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.04								
			0	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.04								
			1	2.19	2.18	0.07	0.07	2.25	0.07	0.07	2.25								
ハスイモ (施設) [葉柄] 平成16年度	2000倍 300 L/10a 散布	高知県農技 センター(南 国)	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			7	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
食用さくら(葉) (露地) [葉部] 平成17年度	2000倍 300 L/10a 散布	高知県農技 センター(葉 山)	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			7	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								
			3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.2								

*: 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料 調製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)												
					公 的 分 析 機 関					社 内 分 析 機 関							
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*			
					最高値	平均値	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	最高値	平均値	合計*			
温州みかん (施設) [果 肉] 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a(愛知) 1000 L/10a(大分) 散 布	愛知 農総試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	7	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	0.009	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	0.01		
			1	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	0.008	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	
			1	21	0.009	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	0.007	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	
			1	30	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	0.017	0.015	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.02	
	1000倍 500 L/10a(愛知) 1000 L/10a(大分) 散 布	大分 柑橘試	大分 柑橘試	1	44	0.007	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	0.009	0.009	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	
				0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
				1	7	0.027	<0.005	<0.005	0.03	0.028	0.024	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.03
				1	14	0.023	<0.005	<0.005	0.03	0.010	0.010	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.02
				1	21	0.016	<0.005	<0.005	0.02	0.010	0.010	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.02
温州みかん (施設) [果 皮] 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a(愛知) 1000 L/10a(大分) 散 布	愛知 農総試	1	30	0.012	<0.005	<0.005	<0.005	0.02	0.018	0.015	<0.005	<0.005	<0.005	0.02		
			1	45	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	0.008	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01		
			0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	0.154	<0.005	<0.005	0.16	0.239	0.214	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.23	
			1	14	0.148	<0.005	<0.005	0.15	0.175	0.164	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.19	
	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a(愛知) 1000 L/10a(大分) 散 布	大分 柑橘試	大分 柑橘試	1	21	0.080	<0.005	<0.005	0.08	0.180	0.174	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.20	
				1	30	0.173	<0.005	<0.005	0.18	0.240	0.238	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.26	
				1	44	0.211	<0.005	<0.005	0.20	0.230	0.191	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.21
				0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
				1	7	0.991	<0.005	<0.005	1.00	0.802	0.753	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.81

*: 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剂 型 有効成分量 希釈倍数 使用方法	試料 調製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)										
					公 的 分 析 機 関					社 内 分 析 機 関					
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*	
					最高値	平均値	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	最高値	平均値	合計*	
夏みかん (露地) [果肉] 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散 布	和歌山 果園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	14	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	30	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	45	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
夏みかん (露地) [果皮] 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散 布	和歌山 果園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.04	<0.04	<0.08	
			1	14	0.12	<0.01	<0.01	<0.01	0.13	0.34	<0.04	<0.04	<0.04	0.38	
			1	21	0.41	0.40	0.01	0.01	0.41	0.32	<0.04	<0.04	<0.04	0.36	
			1	30	0.17	0.16	0.02	0.02	0.18	0.29	<0.04	<0.04	<0.04	0.32	
			1	45	0.20	0.20	0.02	0.02	0.22	0.26	<0.04	<0.04	<0.04	0.30	
夏みかん (露地) [ホール]** 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散 布	和歌山 果園試	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.04	<0.04	<0.08	
			1	14	0.16	0.16	<0.01	<0.01	0.17	0.15	<0.04	<0.04	<0.04	0.18	
			1	21	0.11	0.10	<0.01	<0.01	0.11	0.26	<0.04	<0.04	<0.04	0.29	
			1	30	0.15	0.14	0.01	0.01	0.15	0.07	<0.04	<0.04	<0.04	0.10	
			1	45	0.11	0.10	0.01	0.01	0.11	0.24	<0.04	<0.04	<0.04	0.28	
夏みかん (露地) [ホール]** 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散 布	和歌山 果園試	1	14				<0.005	0.04			0.095	<0.005	0.10	
			1	21				<0.005	0.12			0.090	<0.005	0.10	
			1	30				0.006	0.06			0.078	<0.005	0.08	
			1	45				0.006	0.06			0.073	<0.005	0.08	
			1	14				<0.005	0.05			0.038	<0.005	0.04	
1	21				<0.005	0.03			0.068	<0.005	0.07				
1	30				<0.005	0.04			0.016	<0.005	0.02				
1	45				<0.005	0.03			0.065	<0.005	0.07				

* : 合計値は申請者が算出した。

** : 試験成績より申請者が算出した。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農業株式会社にある。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)											
					公的分析機関					社内分析機関						
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計		
最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値								
ゆず (露地) 〔果実〕 平成2年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散布	大分宇佐 病害虫 防除所	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02*
			1	14	0.06	0.06	0.01	0.01	0.07*	0.05	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.06*
			1	28	0.02	0.02	<0.01	<0.01	0.03*	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05*
			1	98	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02*	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02*
			1	14	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.05*	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05*
1	28	0.03	0.02	<0.01	<0.01	0.03*	0.02	0.03*	0.03	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.04*		
1	56	0.01	0.01	<0.01	<0.01	0.02*	0.01	0.02*	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02*		
すだち (露地) 〔果実〕 平成17年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散布	徳島植防	0	-	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.050	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	
			1	7	0.226	0.225	<0.025	<0.025	0.250	0.225	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	0.250	
			1	14	0.147	0.146	<0.025	<0.025	0.171	0.146	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	0.171	
			1	21	0.084	0.084	<0.025	<0.025	0.109	0.084	<0.025	<0.025	<0.025	<0.025	0.109	

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤 型 有効成分量	試験調 製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)										
					公 的 分 析 機 関					社 内 分 析 機 関					
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*	
最高値	平均値	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	最高値	平均値	合計*						
りんご (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	青森 りんご試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	14	0.116	0.110	0.007	0.006	0.12	0.094	0.092	0.007	0.006	0.10	
			1	29	0.082	0.081	0.005	0.005	0.09	0.074	0.068	0.008	0.007	0.08	
			1	45	0.035	0.034	<0.005	<0.005	0.04	0.043	0.042	<0.005	<0.005	0.05	
			1	60	0.048	0.042	<0.005	<0.005	0.05	0.059	0.056	0.007	0.006	0.06	
			[果実]												
なし (露地)	1000倍 280 L/10a(青森) 500 L/10a(長野) 散 布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	14	0.049	0.048	<0.005	<0.005	0.05	0.050	0.048	<0.005	<0.005	0.05	
			1	30	0.028	0.028	<0.005	<0.005	0.03	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	45	0.007	0.007	<0.005	<0.005	0.01	0.031	0.030	<0.005	<0.005	0.04	
			1	60	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	0.011	0.011	<0.005	<0.005	0.02	
			[果実]												
なし (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	新潟園試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	0.066	0.066	0.009	0.008	0.07	0.060	0.055	0.005	0.005	0.06	
			1	14	0.044	0.044	0.009	0.008	0.05	0.041	0.040	0.010	0.009	0.05	
			1	21	0.033	0.032	0.009	0.008	0.04	0.047	0.046	0.008	0.008	0.05	
			1	30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	60	0.010	0.010	0.005	0.005	0.02	0.019	0.018	0.008	0.008	0.03	
なし (露地)	1000倍 500 L/10a 散 布	徳島果試 (県北)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	0.196	0.194	0.021	0.019	0.21	0.188	0.172	0.019	0.018	0.19	
			1	13	0.116	0.110	0.012	0.012	0.12	0.120	0.118	0.018	0.016	0.13	
			1	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	30	0.120	0.119	0.017	0.016	0.14	0.108	0.106	0.019	0.019	0.13	
			1	60	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剂型 有効成分量	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)											
					公的分析機関					社内分析機関						
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値			
びわ (施設有袋)	5%水和剤 (フロアブル)	長崎 総農試 野田町	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	
			1	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	
			1	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01
			1	21	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01
〔果実〕 平成4年度	1000倍 400 L/10a 散布	長崎 総農試 鬼橋町	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	
			1	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	
			1	14	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01
			1	21	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01
もも (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	長野植防 (須坂)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	0.008	0.008	<0.005	<0.005	0.01	0.010	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	
			1	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	21	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
〔果肉〕 平成元年度	1000倍 500 L/10a(長野) 300 L/10a(岡山) 散布	岡山農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	0.006	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	
			1	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	0.005	0.005	<0.005	0.005	0.005	0.005	0.01
			1	19	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
もも (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	長野植防 (須坂)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	1.26	1.25	0.075	0.074	1.32	0.806	0.703	0.788	0.078	0.078	0.78	
			1	14	0.660	0.654	0.065	0.061	0.72	0.592	0.546	0.077	0.058	0.058	0.60	
			1	21	0.327	0.295	0.049	0.044	0.34	0.616	0.531	0.071	0.054	0.054	0.59	
〔果皮〕 平成元年度	1000倍 500 L/10a(長野) 300 L/10a(岡山) 散布	岡山農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	7	1.30	1.26	0.039	0.037	1.30	0.890	0.788	0.061	0.056	0.056	0.84	
			1	14	1.096	1.015	0.041	0.040	1.06	1.05	0.927	0.063	0.057	0.057	0.98	
			1	19	0.880	0.855	0.046	0.044	0.90	0.348	0.306	0.061	0.051	0.051	0.36	

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調 製場所	使用回 数	経過日 数	公 的 分 析 機 関				社 内 分 析 機 関					
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
ネクタリン (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	青森植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02					
[果実]	1000倍 青森:400 L/10a 長野:350 L/10a 散 布	長野植防 (須坂)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02					
平成21年度			2	7	0.43	0.42	<0.01	<0.01	0.43					
			2	14	0.40	0.40	<0.01	<0.01	0.41					
			2	21	0.38	0.38	0.01	0.01	0.39					
うめ (露地)	*4%水和剤 (フロアブル)	福井植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.010
[果実]	1000倍 400 L/10a 散布		2	7	0.397	0.378	0.005	0.005	0.38	0.479	0.010	0.010	0.489	0.489
			2	14	0.123	0.118	<0.005	<0.005	0.12	0.188	<0.005	<0.005	0.193	0.193
			2	21	0.154	0.154	0.008	0.008	0.16	0.212	0.010	0.010	0.222	0.222
平成20年度		徳島植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.010	<0.010
			2	7	0.504	0.504	0.022	0.022	0.53	0.749	0.035	0.034	0.783	0.783
			2	14	0.444	0.428	0.025	0.025	0.45	0.494	0.027	0.027	0.521	0.521
			2	21	0.187	0.184	0.019	0.019	0.20	0.192	0.017	0.017	0.209	0.209

* : アブロードエースフロアブル(フェンピロキシメート4.0% + プロフロエジン20.0%)

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用方法	試験料調 製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)									
					公 的 分 析 機 関			社 内 分 析 機 関						
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体	合 計			
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値					
おうとう (露地) [果実] 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散 布	秋田果試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
			1	14	0.084	0.082	0.011	0.010	0.060	0.057	0.007	0.007	0.06*	
			1	21	0.088	0.086	0.009	0.009	0.070	0.068	0.008	0.008	0.08*	
			1	30	0.019	0.019	0.005	0.005	0.026	0.025	<0.005	<0.005	0.03*	
			1	59	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
おうとう (露地) [果実] 平成21年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 青森;400 L/10a 秋田;612 L/10a 散 布	青森植防 秋田農技 センター (果試)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
			2	7	0.08	0.08	<0.01	<0.01	0.077	0.074	0.006	0.006	0.08*	
			2	14	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.043	0.042	0.007	0.007	0.05*	
			2	21	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
			2	21	0.12	0.12	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
おうとう (露地) [果実] 平成21年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 青森;400 L/10a 秋田;612 L/10a 散 布	青森植防 秋田農技 センター (果試)	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
			2	7	0.08	0.08	<0.01	<0.01	0.24	0.24	0.01	0.01	0.25	
			2	14	0.05	0.05	<0.01	<0.01	0.18	0.18	<0.01	<0.01	0.19	
			2	21	0.12	0.12	<0.01	<0.01	0.12	0.12	<0.01	<0.01	0.13	
			2	21	0.12	0.12	<0.01	<0.01	0.12	0.12	<0.01	<0.01	0.13	

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*
最高値	平均値	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	最高値	平均値	合計*					
いちご (施設)	5%水和剤 (フロアブル)	埼玉植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	1	0.179	<0.005	<0.005	0.18	0.137	<0.005	<0.005	<0.005	0.14	
			1	3	0.058	<0.005	<0.005	0.06	0.069	<0.005	<0.005	<0.005	0.07	
			1	7	0.056	<0.005	<0.005	0.06	0.098	0.096	0.005	0.005	0.10	
いちご (施設)	1000倍 150 L/10a(埼玉) 200 L/10a(奈良) 散布	奈良農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	1	0.150	<0.005	<0.005	0.15	0.162	<0.005	<0.005	<0.005	0.16	
			1	3	0.099	<0.005	<0.005	0.10	0.079	<0.005	<0.005	<0.005	0.08	
			1	7	0.076	<0.005	<0.005	0.08	0.107	0.098	<0.005	<0.005	0.10	
〔果実〕	5%水和剤 (フロアブル)	埼玉植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	1	0.088	<0.005	<0.005	0.09	0.092	<0.005	<0.005	<0.005	0.09	
			1	3	0.042	<0.005	<0.005	0.05	0.093	<0.005	<0.005	<0.005	0.10	
			1	7	0.029	<0.005	<0.005	0.03	0.053	0.052	<0.005	<0.005	0.06	
平成元年度	2000倍 150 L/10a, 200 L/10a 散布	奈良農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	1	0.027	<0.005	<0.005	0.03	0.084	<0.005	<0.005	<0.005	0.09	
			1	3	0.060	<0.005	<0.005	0.06	0.040	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	
			1	7	0.023	<0.005	<0.005	0.03	0.035	0.034	<0.005	<0.005	0.04	

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調 製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)								
					公 的 分 析 機 関			社 内 分 析 機 関					
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合 計*
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値						
ぶどう (施設) 〔果実〕 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 L/10a 散 布	石川 砂丘農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	14	0.410	0.394	0.005	0.005	0.336	0.311	0.006	0.32	
			1	21	0.452	0.432	0.012	0.012	0.287	0.260	0.008	0.27	
			1	30	0.364	0.349	0.011	0.010	0.251	0.244	0.010	0.25	
			1	60	0.062	0.060	0.007	0.006	0.042	0.040	<0.005	<0.005	0.05
			合 計*										
ぶどう (施設) 〔果実〕 平成元年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 L/10a 散 布	福井農試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	13	0.433	0.430	<0.005	<0.005	0.470	0.430	<0.005	0.44	
			1	20	0.525	0.512	<0.005	<0.005	0.464	0.444	<0.005	0.45	
			1	29	0.510	0.502	0.010	0.010	0.453	0.408	0.005	0.41	
			2	13	1.18	1.15	0.015	0.014	0.997	0.928	0.010	0.94	
			2	20	1.17	1.14	0.014	0.014	0.871	0.848	0.010	0.86	
かき (露地,無袋) 〔果実〕 平成2年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 L/10a 散 布	岐阜植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	7	0.071	0.070	0.007	0.006	0.060	0.057	0.006	0.06	
			1	14	0.038	0.038	0.009	0.008	0.019	0.018	<0.005	0.02	
			1	21	0.028	0.027	0.005	0.005	0.047	0.037	0.006	0.04	
			1	28	0.055	0.052	0.014	0.014	0.043	0.039	<0.005	0.04	
			合 計*										
〔果実〕 平成2年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 600 L/10a 散 布	山口萩 柑橋試	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01		
			1	7	0.103	0.102	0.013	0.012	0.097	0.092	0.006	0.10	
			1	14	0.045	0.045	0.010	0.010	0.045	0.044	0.006	0.05	
			1	21	0.057	0.056	0.010	0.010	0.030	0.026	<0.005	0.03	
			1	28	0.060	0.060	0.010	0.010	0.023	0.022	<0.005	0.03	
			合 計*										

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調製場所	経過日数	分析値 (ppm)												
				使用回数	公的分析機関						社内分析機関					
					フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体			フェンピロキシメート (E-体)			Z-異性体		
					最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*	最高値	平均値	合計*
キウイフルーツ (露地)	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 L/10a 散布	静岡 柑橘試	0	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
			1	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
			3	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	0.02	
			6	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
〔果肉〕 平成5年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散布	長崎果試	0	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
			1	0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
			3	0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
			7	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
キウイフルーツ (露地)	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 L/10a 散布	静岡 柑橘試	0	0.02	0.02	0.03	<0.01	<0.01	0.03	0.02	0.02	0.03	<0.01	<0.01	0.03	
			1	2.72	2.72	2.73	0.01	0.01	2.73	3.00	2.97	2.98	0.01	0.01	2.98	
			3	2.93	2.92	2.94	0.02	0.02	2.94	2.40	2.38	2.40	0.02	0.02	2.40	
			6	2.40	2.40	2.44	0.04	0.04	2.44	1.18	1.16	1.18	0.02	0.02	1.18	
〔果皮〕 平成5年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 300 L/10a 散布	長崎果試	0	0.01	0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	
			1	1.85	1.84	1.85	0.01	0.01	1.85	1.35	1.34	1.35	<0.01	<0.01	1.35	
			3	1.52	1.51	1.53	0.02	0.02	1.53	1.14	1.14	1.14	0.02	0.02	1.16	
			7	1.78	1.78	1.84	0.06	0.06	1.84	1.22	1.21	1.25	0.04	0.04	1.25	
チエリモヤ (施設、無袋)	5%水和剤 (フロアブル)	和歌山 果園試 下津町	0	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
			1	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	0.03	0.02	0.03	<0.01	<0.01	0.03	
			45	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
			0	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	
〔果実〕 平成7年度	2000倍 400 L/10a 散布	和歌山 果園試 有田市	1	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	0.04	0.04	<0.01	<0.01	0.05		
			1	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	0.01	0.01	0.02	<0.01	<0.01	0.02	

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計*
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値	
いちじく (露地)	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 150 L/10a 散布	愛知農総 試験研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
	1		1	0.300	0.300	<0.005	0.31	0.203	0.198	0.005	0.005	0.005	0.20	
	1		3	0.171	0.170	<0.005	0.18	0.159	0.142	<0.005	<0.005	<0.005	0.15	
	1		7	0.144	0.144	0.007	0.15	0.134	0.129	0.009	0.008	0.008	0.14	
	0		-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
	1		1	0.147	0.147	<0.005	0.15	0.125	0.117	<0.005	<0.005	<0.005	0.12	
	1		3	0.125	0.124	0.005	0.13	0.082	0.077	<0.005	<0.005	<0.005	0.08	
〔果実〕 平成4年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 600 L/10a 散布	兵庫植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
	1		1	0.205	0.204	<0.005	0.21	0.192	0.190	<0.005	<0.005	0.20		
	1		3	0.136	0.136	0.007	0.14	0.127	0.120	0.008	0.008	0.13		
	1		7	0.104	0.104	0.009	0.11	0.083	0.083	0.009	0.008	0.09		
	0		-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
	1		1	0.183	0.182	<0.005	0.19	0.141	0.132	0.005	0.005	0.14		
	1		3	0.091	0.090	0.006	0.10	0.076	0.072	0.007	0.006	0.08		
アセロラ (施設) 〔果実〕 平成17年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散布	宮城園芸総 合研	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.08	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.08	
	1		14	0.06	0.05	<0.04	0.09	0.05	0.04	<0.04	<0.04	0.14		
	1		21	0.06	0.05	<0.04	0.09	0.05	0.04	<0.04	<0.04	0.08		
	1		28	<0.04	<0.04	<0.04	<0.08	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.06		
アセロラ (露地) 〔果実〕 平成17年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 L/10a 散布	沖縄県病害 虫防除所	0	-	<0.04	<0.04	<0.04	<0.08	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.08	
	1		14	0.12	0.12	<0.04	0.16	0.12	0.04	<0.04	<0.04	0.14		
	1		21	0.05	0.05	<0.04	0.09	0.05	0.04	<0.04	<0.04	0.08		
	1		28	<0.04	<0.04	<0.04	<0.08	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.06		

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年度	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用方法	試験調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計	フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値		
茶 (簡易被覆) [浸出液] 平成元年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 L/10a 散布	茨城 山間地帯 特産 指導所	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02*
			1	7	0.099	0.013	0.012	0.10*	0.06	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.07*
			1	14	0.031	0.009	0.008	0.04*	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02*
		1	21	0.015	0.007	0.007	0.02*	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02*
		1	30	0.009	<0.005	<0.005	0.01*	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02*
		1	30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02*
茶 (簡易被覆) [あら茶] 平成元年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 400 L/10a 散布	茨城 山間地帯 特産 指導所	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
			1	7	13.2	0.971	0.954	14.2*	14.7	14.4	0.895	0.791	0.262	0.262	15.2*
			1	14	3.99	0.445	0.444	4.42*	3.33	3.29	0.266	0.266	0.077	0.077	3.55*
		1	21	1.08	0.120	0.114	1.17*	0.884	0.676	0.089	0.089	0.077	0.077	0.75*	
		1	30	0.499	0.045	0.043	0.53*	0.294	0.276	0.030	0.030	0.030	0.030	0.31*	
		1	30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
茶 (簡易被覆) [荒茶] 平成20年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 1000 L/10a 散布	京都 茶業研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
			1	7	10.2	0.940	0.924	11.1*	13.6	11.2	0.957	0.812	0.223	12.0*	
			1	14	3.01	0.293	0.289	3.27*	2.93	2.80	0.242	0.223	0.223	3.02*	
		1	21	1.51	0.145	0.140	1.62*	1.53	1.28	0.142	0.129	0.129	1.41*		
		1	30	0.105	0.016	0.014	0.12*	0.105	0.093	0.009	0.009	0.008	0.008	0.10*	
		1	30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*
茶 (簡易被覆) [荒茶] 平成20年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 1000 L/10a 散布	京都 茶業研	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
			1	7	21.1	0.69	0.68	21.7	7.08	7.03	0.32	0.32	0.32	7.35	
			1	14	10.6	0.66	0.66	11.1	3.37	3.29	0.26	0.26	0.26	3.55	
		1	21	3.49	0.20	0.20	3.6	1.35	1.32	0.10	0.10	0.10	1.42		
		1	30	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.01*	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01*	
		1	30	1.30	0.07	0.07	1.4	0.67	0.65	0.04	0.04	0.04	0.04	0.69	

* : 合計値は申請者が算出した。

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験料調 製場所	使用回 数	経過 日数	公 的 分 析 機 関				社 内 分 析 機 関			
					フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体		フェンピロキシメート (E-体)		Z-異性体	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
ホップ (露地)	5%水和剤 (フロアブル)	岩手農試	0	-	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	<0.08	<0.08	<0.08	<0.16
			1	14	4.36	4.34	0.11	4.45	4.08	3.86	0.31	4.16
			1	28	1.49	1.48	0.05	1.53	1.48	1.47	0.15	1.61
			1	42	0.17	0.16	<0.05	0.21	0.19	0.18	<0.08	0.25
			1	56	0.07	0.07	<0.05	0.12	0.12	0.12	<0.08	0.20
【乾穂果】 平成4年度	1000倍 400 L/10a(岩手) 700 L/10a(山形) 散 布	山形農試	0	-	0.05	0.05	<0.05	<0.10	<0.08	<0.08	0.11	0.18
			1	14	7.31	7.21	0.16	7.37	7.76	7.66	0.76	8.38
			1	28	7.79	7.68	0.32	7.99	7.54	7.53	0.74	8.27
			1	42	0.46	0.44	<0.05	0.49	0.50	0.48	<0.08	0.56
			1	56	0.15	0.15	<0.05	0.20	0.21	0.19	<0.08	0.27
しそ (施設)	5%水和剤 (フロアブル)	大阪農技 センター	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
			1	7	5.7	5.7	<0.1	5.8	9.9	9.6	0.2	9.8
			1	14	3.7	3.7	<0.1	3.8	5.0	4.9	0.2	5.1
			1	21	3.0	3.0	<0.1	3.1	3.2	3.0	0.1	3.1
			1	28	0.7	0.6	<0.1	0.7	0.8	0.8	0.1	0.9
【葉部】 平成2年度	2000倍 250 L/10a 散 布	和歌山 農 試	0	-	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	<0.1	<0.1	<0.1	0.2
			1	7	5.6	5.4	0.2	5.6	6.0	5.8	0.4	6.2
			1	14	3.5	3.4	0.3	3.7	3.6	3.4	0.5	3.9
			1	21	0.1	0.1	<0.1	0.2	0.7	0.6	0.2	0.8
			1	28	0.1	0.1	<0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3
みょうが (施設)	5%水和剤 (フロアブル)	高知県農技 センター(須 崎)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
			1	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
			1	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
			1	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
			0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
【花穂】 平成15年度	2000倍 350 L/10a 散 布	高知県農技 センター(安 芸)	0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
			1	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
			1	3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
			1	7	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	
			0	-	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	

* : 合計値は申請者が算出した。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料 調製場所	使用回数	経過日数	分 析 値 (ppm)																
					公 的 分 析 機 関						社 内 分 析 機 関										
					フェンピロキシメート			主要代謝物 Z-異性体			フェンピロキシメート			主要代謝物 Z-異性体							
					最高値	平均値	合計	最高値	平均値	合計	最高値	平均値	合計	最高値	平均値	合計					
すいか (施設) [果実] 平成20年度	*フロアブル (4.0%) 1000倍 300L/10a 散 布	石川植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		熊本県農業 研究センター	3	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

* アプロードエースフロアブル(フェンピロキシメート4.0% + ブプロフェジン20.0%)

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料 調製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)											
					公 的 分 析 機 関					社 内 分 析 機 関						
					フェンピロキシメート		主要代謝物 Z-異性体			フェンピロキシメート		主要代謝物 Z-異性体			合 計	
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
すいか (施設) 〔果肉〕 平成23年度	フロアブル (5.0%) 1000倍 281L/10a(高知) 231L/10a(宮崎) 散 布	日植防 高知試験場	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
すいか (施設) 〔果皮〕 平成23年度	フロアブル (5.0%) 1000倍 281L/10a(高知) 231L/10a(宮崎) 散 布	日植防 高知試験場	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試料 調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					フェンピロキシメート		主要代謝物 Z-異性体			フェンピロキシメート		主要代謝物 Z-異性体			合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値			
メロン (施設) 〔果実〕 平成20年度	*フロアブル (4.0%) 1000倍 300L/10a 散布	石川植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			3	14	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
メロン (施設) 〔果実〕 平成21年度	フロアブル (5.0%) 1000倍 270~290L/10a (牛久) 300L/10a (石川) 散布	日植防 研究所 (牛久) 石川植防	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			3	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			3	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01

* アプロードエースフロアブル(フェンピロキシメート4.0% + プロフロフェジン 20.0%)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料 調製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)											
					公 的 分 析 機 関					社 内 分 析 機 関						
					フェンピロキシメート		主要代謝物 Z-異性体		合 計	フェンピロキシメート		主要代謝物 Z-異性体		合 計		
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値			
あずき (露地) [乾燥子実] 平成22年度	*フロアブル (5.0%) 2000倍	日植防研 (牛久)	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01	
			1	3	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	7	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
	171L/10a(牛久) 180L/10a(高知) 散 布	日植防研 高知	0	-	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	1	0.012	0.012	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.012	0.012	<0.005	<0.005	0.02	
			1	3	0.006	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01
			1	7	0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.01

*ダブルフェースフロアブル(ピフルブミド 15.0% + フェンピロキシメート 5.0%)

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)												
					公的分析機関						社内分析機関						
					フェンピロキシメート			主要代謝物			フェンピロキシメート			主要代謝物			
					最高値	平均値	Z-異性体	最高値	平均値	合計	最高値	平均値	Z-異性体	最高値	平均値	合計	
みかん (施設) [果肉] 平成22年度	*フロアブル 1回目: (5.0%) 1000倍 2回目: (10.0%) 2000倍 667L/10a 散布	日植防 高知	0	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
			2	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
			2	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
			2	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
			2	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
		大分肥料 植防	0	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
みかん (施設) [果皮] 平成22年度	*フロアブル 1回目: (5.0%) 1000倍 2回目: (10.0%) 2000倍 667L/10a 散布	日植防 高知	0	<0.01	2.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	
			2	2.04	2.00	2.06	0.06	0.06	2.06	1.34	1.30	0.06	0.06	1.36	1.36		
			2	2.04	2.01	2.11	0.10	0.10	2.11	1.32	1.23	0.10	0.10	1.33	1.33		
			2	1.99	1.97	2.10	0.13	0.13	2.10	1.50	1.44	0.11	0.11	1.55	1.55		
			2	1.84	1.78	2.00	0.22	0.22	2.00	1.28	1.25	0.15	0.15	1.40	1.40		
		大分肥料 植防	0	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	1.66	1.66	1.68	0.02	0.02	1.68	0.91	0.88	<0.01	<0.01	0.89	0.89		
			2	1.35	1.34	1.36	0.02	0.02	1.36	0.80	0.76	0.01	0.01	0.77	0.77		
			2	1.38	1.37	1.40	0.03	0.03	1.40	0.91	0.86	0.02	0.02	0.88	0.88		
			2	0.69	0.68	0.71	0.03	0.03	0.71	0.46	0.42	0.02	0.02	0.44	0.44		

*ダブルエースフロアブル(ピフルブミド 15.0% + フェンピロキシメート 5.0%)

作物名 (栽培形態) [分析部位] 年 度	剤 型 有効成分量 希釈倍数 使用量 使用方法	試料 調製場所	使用回 数	経過日 数	分 析 値 (ppm)															
					公 的 分 析 機 関						社 内 分 析 機 関									
					フェンピロキシメート			主要代謝物 Z-異性体			フェンピロキシメート			主要代謝物 Z-異性体						
					最高値	平均値	合計	最高値	平均値	合計	最高値	平均値	合計	最高値	平均値	合計				
なつみかん (露地) [果実] 平成22年度	*フロアブル 1回目: (5.0%) 1000倍	三重植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02		
	2回目: (10.0%) 2000倍		2	1	0.39	0.38	0.39	0.39	0.38	0.39	0.39	0.39	0.18	0.16	0.17	0.18	0.16	0.17		
	637L/10a(三重) 500L/10a(大分) 散 布		2	3	0.36	0.36	0.37	0.36	0.36	0.37	0.36	0.37	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.35	
			2	7	0.32	0.32	0.33	0.32	0.32	0.33	0.32	0.33	0.30	0.28	0.28	0.30	0.28	0.30	0.29	
			2	21	0.39	0.39	0.42	0.39	0.39	0.42	0.39	0.42	0.27	0.24	0.24	0.27	0.24	0.31	0.25	
かぼす (露地) [果実] 平成22年度	*フロアブル 1回目: (5.0%) 1000倍	大分農林研 指導センター	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02		
	2回目: (10.0%) 2000倍		2	1	0.49	0.48	0.49	0.49	0.48	0.49	0.49	0.33	0.31	0.31	0.33	0.31	0.31	0.32		
	617L/10a(大分) 500L/10a(徳島) 散 布		2	3	0.39	0.39	0.40	0.39	0.39	0.40	0.39	0.40	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.33	
			2	7	0.35	0.35	0.36	0.35	0.35	0.36	0.35	0.36	0.22	0.18	0.18	0.22	0.18	0.22	0.19	
			2	21	0.35	0.34	0.35	0.34	0.34	0.35	0.34	0.35	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.23	
すだち (露地) [果実] 平成22年度	*フロアブル 1回目: (5.0%) 1000倍	大分肥料 植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02		
	2回目: (10.0%) 2000倍		2	1	0.17	0.16	0.17	0.17	0.16	0.17	0.17	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.17		
	617L/10a(大分) 500L/10a(徳島) 散 布		2	3	0.27	0.27	0.28	0.27	0.27	0.28	0.27	0.28	0.11	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	
			2	7	0.26	0.26	0.27	0.26	0.26	0.27	0.26	0.27	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
			2	21	0.18	0.18	0.21	0.18	0.18	0.21	0.18	0.21	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.21
すだち (露地) [果実] 平成22年度	*フロアブル 1回目: (5.0%) 1000倍	徳島植防	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.02		
	2回目: (10.0%) 2000倍		2	1	0.27	0.26	0.27	0.27	0.26	0.28	0.27	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.28		
	617L/10a(大分) 500L/10a(徳島) 散 布		2	3	0.27	0.27	0.30	0.27	0.27	0.30	0.27	0.30	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.30	
			2	7	0.26	0.26	0.27	0.26	0.26	0.27	0.26	0.27	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.30	
			2	21	0.18	0.18	0.21	0.18	0.18	0.21	0.18	0.21	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.21	

*ダブルフェースフロアブル(ピフルブミド 15.0% + フェンピロキシメート 5.0%)

作物名 (栽培形態)	剤型 有効成分量	試験 調製場所	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					フェンピロキシメート		主要代謝物 Z-異性体		合計	フェンピロキシメート		主要代謝物 Z-異性体		合計
最高値	平均値	最高値	平均値	合計	最高値	平均値	最高値	平均値	合計					
茶 (露地) 〔荒茶〕 平成22年度	*フロアブル 1回目: (5.0%) 1000倍 1000L/10a 2回目: (10.0%) 2000倍 400L/10a 散布	埼玉農林 センター 茶業研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	7	11.7	11.6	1.34	1.34	12.9	8.74	1.23	1.15	9.89	
			2	14	1.87	1.80	0.33	0.32	2.12	1.44	0.27	0.27	1.71	
		三重農研 茶業研	2	21	0.21	0.21	0.05	0.05	0.26	0.20	0.04	0.04	0.24	
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	7	31.3	31.2	1.87	1.86	33.1	24.6	1.66	1.56	26.2	
茶 (露地) 〔浸出液〕 平成22年度	*フロアブル 1回目: (5.0%) 1000倍 1000L/10a 2回目: (10.0%) 2000倍 400L/10a 散布	埼玉農林 センター 茶業研	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	7	11.4	11.2	0.76	0.75	12.0	9.62	0.70	0.70	10.3	
			2	14	3.22	3.20	0.23	0.23	3.43	2.98	0.21	0.20	3.18	
		三重農研 茶業研	2	21	0.23	0.23	0.23	0.23	0.26	0.20	0.04	0.04	0.24	
			0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.02
			2	7	31.2	31.2	1.87	1.86	33.1	24.6	1.66	1.56	26.2	

*ダブルフェースフロアブル(ピルプロミド 15.0% + フェンピロキシメート 5.0%)

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

(参考) その他の代謝物の作物残留性

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

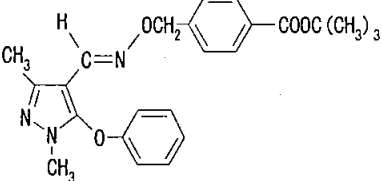
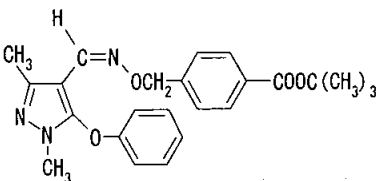
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2. 土壌残留

(1) 分析法の原理と操作概要

(2) 分析対象化合物

名称	化学名・構造式(略称)	分子式 (分子量)	代謝経路図 中での記号
フェンピロキシメート	<p><i>tert</i>-ブチル=(<i>E</i>)-α-(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-<i>p</i>-トルアート</p>  <p>(NNI-850)</p>	C ₂₄ H ₂₇ N ₃ O ₄ (421.50)	A
Z-異性体	<p><i>tert</i>-ブチル=(<i>Z</i>)-α-(1,3-ジメチル-5-フェノキシピラゾール-4-イルメチレンアミノオキシ)-<i>p</i>-トルアート</p> 	C ₂₄ H ₂₇ N ₃ O ₄ (421.50)	B
			D

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

名称	化学名・構造式(略称)	分子式 (分子量)	代謝経路図 中での記号
			I
			L

(3)残留試験結果
次頁以降に示す。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

①圃場試験(畑地条件)

試料調製 および 採取場所 〔土壌種〕 年度	剤型 有効成分量 希釈倍数 使用方法	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)								半減期		
				フェンピロキシメートa		Z-異性体b		代謝物					平均値 の合計 a+b	
				最高値	平均値	最高値	平均値	}	}	}	}			
														最高値
神奈川園試 (根府川) 〔火山灰 壤土〕 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散布	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				<0.01	フェンピロ キシメート
		1	0	0.51	0.51	0.02	0.02	0.02	0.02				0.53	
		1	3	0.32	0.32	0.05	0.04	0.04	0.04				0.36	
		1	7	0.27	0.26	0.03	0.03	0.03	0.03				0.29	
		1	14	0.28	0.28	0.05	0.05	0.05	0.05				0.33	
		1	21	0.23	0.23	0.04	0.04	0.04	0.04				0.27	
		1	30	0.14	0.13	0.04	0.04	0.04	0.04				0.17	
		1	45	0.09	0.08	0.03	0.02	0.02	0.02				0.10	
		1	161	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01				0.03	
愛媛県試 〔洪積砂土〕 昭和63年度	5%水和剤 (フロアブル) 1000倍 500 L/10a 散布	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				<0.01	フェンピロ キシメート
		1	0	1.10	1.08	0.02	0.02	0.02	0.02				1.10	
		1	3	0.45	0.44	0.03	0.02	0.02	0.02				0.46	
		1	7	0.54	0.52	0.03	0.03	0.03	0.03				0.55	
		1	14	0.63	0.62	0.03	0.03	0.03	0.03				0.65	
		1	21	0.48	0.45	0.03	0.03	0.03	0.03				0.48	
		1	30	0.48	0.45	0.03	0.03	0.03	0.03				0.48	
		1	44	0.26	0.23	0.03	0.02	0.02	0.02				0.25	
		1	142	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01				0.02	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

② 容器内試験(畑地条件)

試料調製 および 採取場所 〔土壌種〕 年度	剤型 添加濃度	使用回数	経過日数	分 析 値 (ppm)								半減期	
				フェンピロキシメートa		Z-異性体b		代 謝 物					平均値 の合計 a+b
				最高値	平均値	最高値	平均値						
神奈川県試 (根府川) 〔火山灰壤土〕 昭和63年度	原体 0.25ppm	0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	約16日
		1	0	0.24	0.24	0.01	0.01					0.25	
		1	3	0.19	0.18	0.02	0.02					0.20	
		1	7	0.11	0.10	0.02	0.02					0.12	
		1	14	0.08	0.08	<0.01	<0.01					0.08	
愛媛県試 〔洪積砂土〕 昭和63年度	原体 0.25ppm	1	1	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	約11日
		1	42	0.04	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	
		0	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
		1	0	0.24	0.23	0.01	0.01					0.24	
		1	3	0.20	0.20	0.02	0.02					0.22	
昭和63年度		1	7	0.17	0.16	0.02	0.02					0.18	
		1	14	0.11	0.10	0.02	0.02					0.12	
		1	28	0.03	0.03	0.01	0.01					0.04	
1	42	0.02	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02		

試験実施条件: 温度 25°C、湿度 96%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

VI. 有用動植物等に及ぼす影響

1. 水産動植物に対する影響

No.	試験の種類 被験物質	供試生物	1群当り 供試数	試験方法	試験 水温 (°C)	LC ₅₀ またはEC ₅₀ (mg/L) [()内は有効成分換算値]				試験実施 機関 (報告年)
						24時間	48時間	72時間	96時間	
16 GLP	魚類急性毒性試験 原体	コイ	10	流水式	21.7~ 22.6	0.0085*	0.0060*	0.0060*	0.0055*	
17 GLP	ミジンコ類 急性遊泳阻害試験 原体	オオミジンコ	20	止水式	19.9~ 20.7	0.0142 (0.0141)	0.00328 (0.00326)	—	—	
19 GLP	藻類生長阻害試験 原体	緑藻 <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	10 ⁴ cells /mL	振とう培養法	23.7~ 23.9	EbC ₅₀ (0-72時間): 10 (9.98) ErC ₅₀ (0-72時間): >100 (>99.8)				
20	魚類急性毒性試験 5%水和剤	コイ	10	止水式	20.0~ 21.5	>0.30	0.25	0.18	0.18	
21 GLP	ミジンコ類 急性遊泳阻害試験 5%水和剤	オオミジンコ	20	止水式	19.9~ 20.7	0.162*	0.0217*	—	—	
22 GLP	ミジンコ類 急性遊泳阻害試験 5%水和剤	オオミジンコ	20	止水式	19.9~ 20.6	0.13	0.037	—	—	
23 GLP	藻類生長阻害試験 5%水和剤	緑藻 <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	10 ⁴ cells /mL	振とう培養法	23.7~ 24.5	EbC ₅₀ (0-72時間): >300 ErC ₅₀ (24-48時間): >300 ErC ₅₀ (24-72時間): >300				

*:実測値に基づく値

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

No.	試験の種類 被験物質	供試生物	1群当り 供試数	試験方法	試験 水温 (°C)	LC ₅₀ またはEC ₅₀ (mg/L)				試験実施 機関 (報告年)
						24時間	48時間	72時間	96時間	
1 参考	魚類急性毒性試験 原体	コイ	10	止水式	24~25	0.0062	0.0061	0.0061	0.0058	
2 参考	ミジンコ類 急性遊泳阻害試験 原体	ミジンコ	20	止水式	20	0.025	—	—	—	
3 参考	魚類急性毒性試験 原体	ニジマス	10	止水式	15~16	0.00068	0.00057	0.00051	0.00048	
4 参考	魚類急性毒性試験 原体	ヒメダカ	10	止水式	21~22	0.0018	0.0016	0.0016	0.0016	
5 参考	魚類急性毒性試験 原体	ドジョウ	7~10	止水式	19~20	0.01~0.05	0.01~0.05	0.01~0.05	0.01~0.05	
6 参考	魚類急性毒性試験 原体	ブルーギル	5	止水式	18~21	0.004	0.004	0.004	0.004	
7 参考	魚類急性毒性試験 原体	ボラ	10	止水式	21~23	0.001~ 0.01	0.001~ 0.01	0.001~ 0.01	0.001~ 0.01	
8 参考	魚類急性毒性試験 原体	アメリカザリガニ	5	止水式	21~22	>3.0	>3.0	>3.0	>3.0	
9 参考	魚類急性毒性試験 原体	スジエビ	10	止水式	21~22	0.010~ 0.10	0.010~ 0.10	0.010~ 0.10	0.010~ 0.10	
10 参考	魚類急性毒性試験 原体	アサリ	4	止水式	22~23	>1.0	>1.0	>1.0	0.10~1.0	
11 参考	魚類急性毒性試験 原体	ヒメタニシ	10	止水式	22~23	>1.0	>1.0	0.10~1.0	0.10~1.0	
12 参考	魚類急性毒性試験 原体	サカマキガイ	10	止水式	21~25	>10	>10	>10	>10	
14 参考	ミジンコ類 急性遊泳阻害試験 5%水和剤	ミジンコ	20	止水式	22	1.3	—	—	—	
15 参考	魚類急性毒性試験 5%水和剤	ニジマス	10	止水式	15	0.025	0.014	0.012	0.012	
18 GLP 参考	藻類生長阻害試験 原体	緑藻 <i>Scenedesmus subspicatus</i>	10 ⁴ cells /mL	振とう培養法	24.5~ 25.4	EbC ₅₀ (0-72時間):0.00344(0.00342) ErC ₅₀ (0-72時間):0.00554(0.00550)				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2.水産動植物以外の有用生物に対する影響

2-1.蚕に対する影響試験

No.	供試生物(系統)、 齢期	1群当り の供試数	供試薬剤	試験方法	結果	試験実施 機関 (報告年)
1	蚕(錦秋×鐘和) 4齢起	50頭/反復 2反復	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液を 桑葉に散布 1日2回連続給与	安全日数15日	
2	蚕(春嶺×鐘月, 錦秋×鐘和) 4齢起	50頭/反復 2反復	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液を 桑葉に散布 1日2回連続給与	安全日数25日	
3	蚕(太平1号× 長安1号, 芙蓉×東海) 4齢起	50頭/反復 2反復	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液を 桑葉に散布 1日2回連続給与	安全日数24日	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2-2.ミツバチに対する影響試験

No.	供試生物(日齢)	1群当りの供試数	供試薬剤	試験方法	結果	試験実施機関 (報告年)
1	セイヨウミツバチ (20日以上)	100頭/反復 3反復	5%水和剤	製剤の500倍或いは1000倍希釈液を虫体に散布 (5日間観察)	LC ₅₀ >100ppm (500倍) 1000倍では死亡例なし	
	セイヨウミツバチ (20日以上)	100頭/反復 3反復	5%水和剤	製剤の25ppm或いは50ppm液を飼料に混和 (5日間観察)	死亡例なし	
	セイヨウミツバチ (コロニー)	約10,000頭	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液を巣箱に散布 (20日間観察)	死亡例なし	
	セイヨウミツバチ (働きバチ)	100頭/反復 3反復	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液を虫体に散布し、帰巢能力を調査(2日間観察)	影響なし	
	セイヨウミツバチ (働きバチ)	—	5%水和剤	製剤の500倍或いは1000倍希釈液をミカンの樹に散布し、訪花能力を調査 (5日間観察)	影響なし	
2	セイヨウミツバチ (20日齢以上の働きバチ)	100頭	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液を散布したイチゴの葉を処理。 (20日間観察)	死亡例なし	
	セイヨウミツバチ (コロニー)	約5,000頭	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液を散布したイチゴの温室に放飼。 (20日間観察)	死亡例なし	
	セイヨウミツバチ (コロニー)	約5,000頭	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液を散布し、訪花能力を調査 (30日間観察)	影響なし	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2-3.天敵に対する影響試験

No.	供試生物(日齢)	1群当りの供試数	供試薬剤	試験方法	結果	試験実施機関 (報告年)
1	マメコバチ成虫	10頭/反復 3反復	5%水和剤	製剤の50ppm液を虫体に散布。	影響なし	
2	ヤノネキイロコバチ	10頭/反復 5反復	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液(50ppm)を虫体に散布	50ppmで 補正死亡率37.6%	
3	ダニハネカクシ	20頭	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液(50ppm)に虫体を浸漬	成虫に影響なし	
4	ニセラーゴカブリダニ	10頭/反復 5反復	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液(50ppm)を虫体に散布	補正死亡率69.7%	
5	ファラシスカブリダニ	39~34頭	5%水和剤	製剤の1000倍希釈液(50ppm)を虫体に散布	影響は僅か(補正死亡率8.3%、 産卵数に影響なし)	
6	キクヅキコモリグモ	20頭	5%水和剤	製剤の500倍、1000倍及び2000倍希釈液を虫体に散布	影響なし	
7	アオムシコマユバチ	20頭	5%水和剤	製剤の1000倍(50ppm)及び2000倍(25ppm)希釈液を虫体に散布	成虫に影響あり (補正死亡率50ppmで89% 25ppmで39%) 繭に影響なし	
8	クロアブラバチ	49~41頭	5%水和剤	製剤の500倍(100ppm)、1000倍(50ppm)及び2000倍(25ppm)希釈液に虫体を浸漬	マミーに僅かに影響(羽化率84%)	
9	ニッポンクサカゲロウ	5~20頭	5%水和剤	製剤の1000倍(50ppm)及び2000倍(25ppm)希釈液を虫体に散布	成虫に僅かに影響(生存率86~100%) 繭および成虫に影響なし	

2-4.鳥類に対する影響試験

No.	試験の種類・被験物質	供試生物	1群当りの供試数	投与方法	投与量(mg/Kg)	LD ₅₀ 又はLC ₅₀ 及び無影響量	観察された影響等	試験実施機関 (報告年)
1	急性毒性試験原体	ウズラ	雄10羽 雄5羽	経口投与	100, 300 1000	LD ₅₀ 値 >1000mg/Kg	特になし	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2-5. 周辺作物に対する薬害（漂流飛散）

No.	供試作物	供試薬剤	処理量	結果	試験実施機関 (報告年)
1	水稻	5%水和剤	500倍 1000倍	薬害なし	
2	小麦			薬害なし	
3	大麦			薬害なし	
4	ハクサイ			薬害なし	
5	カンラン			薬害なし	
6	パクチョイ			薬害なし	
7	大豆			薬害なし	
8	ピーマン			薬害なし	
9	きゅうり			薬害なし	
10	シクラメン			薬害なし	
11	デンドロビウム			薬害なし	
12	グズマニア			薬害なし	
13	グズマニア			薬害なし	
14	キンギョソウ			薬害なし	
15	パンジー			薬害なし	
16	大豆	1000倍	薬害なし		
17	あずき		薬害なし		
18	ピーマン	1000～ 2000倍	薬害なし		
19	きゅうり		薬害なし		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

Ⅶ. 使用時安全上の注意、解毒方法

1. 使用時安全上の注意事項

1) 種類:フェンピロキシメート(5.0%)水和剤

名称:ダニロンフロアブル

- (1) 取扱いには十分注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

2) 種類:フェンピロキシメート(4.0%) + ブプロフェジン(20.0%)水和剤

名称:アプロードエースフロアブル

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
- (5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

3) 種類:フェンピロキシメート(5.0%) + ピフルブミド(15.0%)水和剤

名称:ダブルフェースフロアブル

- (1) 取扱いには十分注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
本剤使用中の身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

(4) 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。

また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。

(5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

2. 解毒法および治療法

なし

3. 製造時、使用時等における事故例

なし

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

VIII. 毒性

<毒性試験一覧表>

1. 原体

資料 No.	試験の種類・期間	供試生物	1群当り供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD ₅₀ または無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)	掲載頁
T-1 GLP	急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経口	♂♀:200, 280, 400, 600, 800	♂:480 ♀:245		72
T-2 GLP	急性毒性 14日間観察	マウス	♂:5 ♀:5	経口	♂:200, 280, 400, 600, 800 ♀:200, 280, 400, 600, 800, 1200, 1700	♂:520 ♀:440		73
T-3 GLP	急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経皮	♂♀:2000	♂♀:>2000		74
T-4 GLP	急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	吸入	♂♀:0.061, 0.13, 0.33, 0.66, 0.69 mg/L	♂:0.33 ♀:0.36 mg/L		75
T-10 GLP	皮膚刺激性 72時間観察	ウサギ	♂:6	貼付	0.5g/6cm ²	刺激性なし		77
T-9 GLP	眼刺激性 7日間観察	ウサギ	非洗眼 ♂:6 洗眼 ♂:3	点眼	0.1g/眼	軽度 刺激性あり		78
T-15 GLP	皮膚感作性 (Maximization法) 72時間観察	モルモット	検体 ♀:25 対照 ♀:10	皮内 および 貼付	感作 :5%検体(皮内) 25%検体(貼付) 惹起:25%検体(貼付)	中等度 感作性あり		80
T-16 GLP	皮膚感作性 (buehler法) 72時間観察	モルモット	検体 ♀:20 対照群 ♀:10	貼付	感作:50%検体 惹起:25, 50%検体	感作性なし		82
T-56 省略	急性神経 毒性							84
T-18 GLP	急性遅発性 神経毒性 43日間観察	ニワトリ	検体 ♀:12 対照群 ♀:6	経口	♀:5000	遅発性 神経毒性 なし		85
T-19 GLP	90日間 反復経口 投与毒性	ラット	♂:10 ♀:10	飼料 混入	♂♀:0, 20, 100, 500 ppm ♂:0, 1.30, 6.57, 35.22 ♀:0, 1.65, 8.29, 38.60	♂♀:20ppm ♂:1.30 ♀:1.65		87
T-20 GLP	28日間 反復経口 投与毒性 (用量設定)	イヌ	♂:1 ♀:1	経口 (カプセル)	♂♀:30, 75, 100	♂♀:30		94
T-21 GLP	90日間 反復経口 投与毒性	イヌ	♂:4 ♀:4	経口 (カプセル)	♂♀:0, 2, 10, 50	♂♀:2		97
T-57 省略	21日間 反復経皮 投与毒性							103

■ 残留農薬安全性評価委員会で評価済

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

資料 No.	試験の種類・期間	供試生物	1群当り供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD ₅₀ または無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)	掲載頁
T-58 省略	90日間 反復 吸入毒性							104
T-59 省略	反復経口 投与 神経毒性							105
T-60 省略	28日間反復 投与遅発性 神経毒性							106
T-22 GLP	1年間 反復経口 投与毒性	イヌ	♂:4 ♀:4	経口 (カプセル)	♂♀:0, 0.5, 1.5, 5.0, 15	♂♀:1.5		107
T-23 GLP	2年間反復 経口投与毒 性/発がん性	ラット	毒性 ♂:30 ♀:30 発がん ♂:50 ♀:50	飼料 混入	♂♀:0, 10, 25, 75, 150ppm ♂:0, 0.40, 0.97, 3.00, 6.20 ♀:0, 0.49, 1.21, 3.81 8.01	♂♀:25ppm ♂:0.97 ♀:1.21 発がん性なし		114
T-24 GLP	発がん性 (用量設定 I) 28日間投与	マウス	♂:9 ♀:9	飼料 混入	♂♀:0, 20, 100, 500 ppm ♂:0, 2.58, 12.9, 53.2 ♀:0, 3.07, 14.5, 66.7	♂♀: 500ppm ♂:53.2 ♀:66.7		134
T-25 GLP	発がん性 (用量設定 II) 28日間投与	マウス	♂:9 ♀:9	飼料 混入	♂♀:0, 80, 400, 2000ppm ♂:0, 10.8, 48.4, 181.6 ♀:0, 11.7, 50.4, 170.0	♂♀:400ppm ♂:48.4 ♀:50.4		136
T-26 GLP	発がん性 1.5年間	マウス	♂:50 ♀:50	飼料 混入	♂♀:0, 25, 100, 400 800ppm ♂:0, 2.43, 9.47, 38.02, 69.63 ♀:0, 2.46, 10.22, 41.46, 73.10	♂♀:100ppm ♂:9.47 ♀:10.22 発がん性なし		140
T-27 GLP	繁殖毒性 (用量設定)	ラット	♂:6 ♀:6	飼料 混入	♂♀:0, 10, 50, 200 ppm ♂:0, 0.8, 3.9, 14.6 ♀:0, 1.0, 4.7, 16.1	親動物 ♂♀:50ppm 児動物 ♂♀:200ppm 親動物 ♂:3.9 ♀:4.7 児動物 ♂:14.6 ♀:16.1 繁殖能力 200ppm		147

 残留農薬安全性評価委員会で評価済

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

資料 No.	試験の種類・期間	供試生物	1群当り供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD ₅₀ または無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)	掲載頁
T-28 GLP	繁殖毒性 (2世代)	ラット	♂:24 ♀:24	飼料混入	♂♀:0, 10, 30, 100 ppm	一般毒性 30ppm		151
					P世代 ♂:0, 0.67, 1.99, 6.59 ♀:0, 0.83, 2.44, 8.60	P世代 ♂:1.99 ♀:2.44 F ₁ 世代 ♂:2.33 ♀:2.82		
						F ₁ 世代 ♂:0, 0.78, 2.33, 8.45 ♀:0, 0.96, 2.82, 9.92		
						P世代 ♂:6.59 ♀:8.60 F ₁ 世代 ♂:8.45 ♀:9.92		
T-29 GLP	催奇形性 (用量設定) 10日間投与	ラット	妊娠 ♀:6	経口	♀:0, 1.0, 5.0, 25	母動物 5.0 胎児 25 催奇形性なし		157
T-30 GLP	催奇形性 10日間投与	ラット	妊娠 ♀:22	経口	♀:0, 1.0, 5.0, 25	母動物 5.0 胎児 25 催奇形性なし		159
T-31	催奇形性 (耐量検索)	ウサギ	非妊娠 又は妊娠 ♀:2	経口	段階投与 ♀:10, 20, 40 連続投与 (7日間) ♀:10	母動物 10mg/kgで 影響あり		162
T-32	催奇形性 (用量設定) 14日間投与	ウサギ	妊娠 ♀:4	経口	♀:0, 1.0, 2.5, 5.0	母動物 2.5 胎児 2.5		163
T-33 GLP	催奇形性 14日間投与	ウサギ	妊娠 ♀:15	経口	♀:0, 1.0, 2.5, 5.0	母動物 1.0 胎児 2.5 催奇形性なし		165
T-34 GLP	変異原性 (復帰突然変異)	TA-98,100,1535, 1537,1538 WP2 <i>uvrA</i>		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 50, 158, 500, 1580, 5000 μg/プレート	陰性		169
T-35 GLP	変異原性 (前進突然変異)	チャイニーズハム スターV79細胞		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 3, 10, 30, 100, 330μg/mL	陰性		172
T-36 GLP	変異原性 (染色体異常)	ヒトリンパ球		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 1.25, 5, 20μg/mL	陰性		175
T-37 GLP	変異原性 (小核)	マウス	♂:5 ♀:5	経口	♂♀:0, 80, 400, 2000	陰性		177
T-38 GLP	変異原性 (DNA修復)	枯草菌: H-17, M-45		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 10, 20, 50, 100, 200, 500μg/ディスク	陰性		179

■ 残留農薬安全性評価委員会で評価済

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

資料 No.	試験の種類・期間	供試生物	1群当り供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD ₅₀ または無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)	掲載頁
T-39 GLP	変異原性 (不定期DNA合成)	ラット肝細胞		<i>in vitro</i>	0, 0.025, 0.051, 0.102, 0.255, 0.509, 1.02µg/mL	陰性		181
T-40	生体機能への影響	中枢神経系	一般状態 マウス ♂:5 ♀:5	経口	♂♀:0, 10, 100, 1000	10		183
			自発運動量 マウス ♂:5	経口	♂♀:0, 0.1, 1, 10, 100	10		
			体温 ウサギ ♂:5	経口	♂:0, 30, 100, 300	30		
			脳波 麻酔ウサギ ♂:3	静脈内	♂:0, 0.03, 0.1, 0.3, 0.5	0.1		
		呼吸循環器系	呼吸, 血圧, 心電図, 心拍数 麻酔ラット ♂:5	静脈内	♂:0, 0.1, 0.3, 1.0	0.1		
			呼吸, 血圧, 心電図, 心拍数 麻酔ウサギ ♂:3	静脈内	♂:0, 0.03, 0.1, 0.3, 0.5	0.03		
		自律神経系	摘出回腸自発運動 ウサギ ♂:5	<i>in vitro</i>	♂:10 ⁻⁹ , 10 ⁻⁸ , 10 ⁻⁷ , 10 ⁻⁶ g/mL	10 ⁻⁸ g/mL		
			摘出回腸抗収縮 モルモット ♂:5	<i>in vitro</i>	♂:10 ⁻⁹ , 10 ⁻⁸ , 10 ⁻⁷ , 10 ⁻⁶ g/mL	10 ⁻⁹ g/mL		
			摘出子宮運動 ラット ♀:5	<i>in vitro</i>	♀:10 ⁻⁹ , 10 ⁻⁸ , 10 ⁻⁷ , 10 ⁻⁶ m/mL	10 ⁻⁸ g/mL		
			摘出子宮収縮 ラット ♀:5	<i>in vitro</i>	♀:10 ⁻⁹ , 10 ⁻⁸ , 10 ⁻⁷ , 10 ⁻⁶ g/mL	10 ⁻⁸ g/mL		
		消化器系	小腸輸送能 マウス ♂:10	経口	♂:0, 10, 100, 1000	100		
		骨格筋系	坐骨神経-腓腹筋 麻酔ラット ♂:5	静脈内	♂:0, 0.1, 0.3, 1.0	0.3		
		血液系	溶血作用 ウサギ ♂:6	<i>in vitro</i>	♂:10 ⁻⁹ , 10 ⁻⁸ , 10 ⁻⁷ g/mL	10 ⁻⁷ g/mL		
			全血凝固時間 ウサギ ♂:5	<i>in vitro</i>	♂:10 ⁻⁹ , 10 ⁻⁸ , 10 ⁻⁷ g/mL	10 ⁻⁷ g/mL		
			血漿凝固時間 ウサギ ♂:6	<i>in vitro</i>	♂:10 ⁻⁹ , 10 ⁻⁸ , 10 ⁻⁷ g/mL	10 ⁻⁷ g/mL		
		肝分離 ミトコン ドリア	酸素消費 ラット ♂:2	<i>in vitro</i>	♂:10 ⁻⁹ ~10 ⁻⁵ M	50%阻害濃度 3×10 ⁻⁹ M		
電子伝達系 ラット ♂:1	<i>in vitro</i>		♂:10 ⁻⁸ ~10 ⁻⁵ M	50%阻害濃度 3×10 ⁻⁷ M				
T-40	解毒および治療	ラット ♂:4~28		静脈内	♂:0, 0.6, 0.8, 1.0	中枢神経抑制薬等が有効		192
		ラット ♂:10~50		経口	♂:0, 1000, 2000, 4000	吸着剤等が有効		
T-41	コリンエステラーゼ活性に関する検討					阻害なし		196
T-61						阻害なし		198

残留農薬安全性評価委員会で評価済

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

2. 原体混在物および代謝物

資料 No.	試験の種類・期間	供試生物	1群当り供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD ₅₀ または無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)	掲載頁
T-42 GLP	原体混在物 NN-4 急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経口	♂:444, 667, 1000, 1500, 2250, 3375 ♀:296, 444, 667, 1000, 1500, 2250	♂:1016 ♀: 881		200
T-43 GLP	原体混在物 NN-9 急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経口	♂ ♀:4000, 4400, 4800, 5300, 5900, 6400	♂:5609 ♀:5972		201
T-44 GLP	原体混在物 NN-10 急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経口	♂:1300, 1800, 2600, 3600, 4300, 5000 ♀:1800, 2600, 3600, 5000, 7000	♂:3741 ♀:4539		202
T-45 GLP	原体混在物 NN-14 急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経口	♂ ♀:5000	♂ ♀:>5000		203
T-46 GLP	代謝物 M-1 急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経口	♂:400, 500, 600, 700, 1000 ♀:400, 500, 560, 630, 700, 1000	♂:500~700 ♀:607		204
T-47 GLP	代謝物 M-12 急性毒性 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経口	♂ ♀:3900, 5000, 6500	♂ ♀:>5000		206
T-48 GLP	原体混在物 NN-4 変異原性 (復帰突然変異)	TA-98, 100, 1535, 1537, 1538 WP2 <i>uvrA</i>		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 313, 625, 1250, 2500, 5000µg/プレート	陰性		207
T-49 GLP	原体混在物 NN-9 変異原性 (復帰突然変異)	TA-98, 100, 1535, 1537, 1538 WP2 <i>uvrA</i>		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 39, 78, 156, 313, 625, 1250, 2500, 5000µg/プレート	弱い 復帰突然変異原性あり		210
T-50 GLP	原体混在物 NN-9 変異原性 (染色体異常)	CHL細胞		<i>in vitro</i>	S-9mix(-): 0, 1.33, 4.00, 12.0 S-9mix(+): 0, 10, 30, 100µg/mL	陰性		214
T-51 GLP	原体混在物 NN-9 変異原性 (小核)	マウス	♂:6	経口	♂:0, 750, 1500, 3000	陰性		216
T-52 GLP	原体混在物 NN-10 変異原性 (復帰突然変異)	TA-98, 100, 1535, 1537 WP2 <i>uvrA</i>		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 313, 625, 1250, 2500, 5000 µg/プレート	陰性		217

■ 残留農薬安全性評価委員会で評価済

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

資料 No.	試験の種類・期間	供試生物	1群当り供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD ₅₀ または無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)	掲載頁
T-53 GLP	原体混在物 NN-14 変異原性 (復帰突然変異)	TA-98, 100, 1535, 1537 WP2 <i>uvrA</i>		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 313, 625, 1250, 2500, 5000 μg/プレート	陰性		220
T-54 GLP	代謝物 M-1 変異原性 (復帰突然変異)	TA-98, 100, 1535, 1537 WP2 <i>uvrA</i>		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 313, 625, 1250, 2500,5000 μg/プレート	陰性		223
T-55 GLP	代謝物 M-12 変異原性 (復帰突然変異)	TA-98, 100, 1535, 1537 WP2 <i>uvrA</i>		<i>in vitro</i>	S-9mix(-)(+): 0, 313, 625, 1250, 2500, 5000 μg/プレート	陰性		226

3. 製剤

資料 No.	試験の種類・期間	供試生物	1群当り供試数	投与方法	投与量 (mg/kg)	LD ₅₀ または無毒性量 (mg/kg)	試験機関 (報告年)	掲載頁
T-5 GLP	急性毒性 5.0%フロアブル 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経口	♂♀:4000, 5000, 6300, 7900, 10000	♂:9000 ♀:8000		229
T-6 GLP	急性毒性 5.0%フロアブル 14日間観察	マウス	♂:5 ♀:5	経口	♂♀:4000, 5000, 6300, 7900, 10000	♂:>10000 ♀: 8200		231
T-7 GLP	急性毒性 5.0%フロアブル 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	経皮	♂♀:2000	♂♀:>2000		233
T-8 GLP	急性毒性 5.0%フロアブル 14日間観察	ラット	♂:5 ♀:5	吸入	♂♀:0.97, 1.7, 2.9, 3.6 mg/L	♂:4.8 ♀:2.8 mg/L		234
T-12 GLP	皮膚刺激性 5.0%フロアブル 7日間観察	ウサギ	♂:6	貼付	♂:0.5mL/6.25 cm ²	軽度 刺激性あり		236
T-14 GLP	皮膚刺激性 5.0%フロアブル 1000倍希釈液 72時間観察	ウサギ	♂:6	貼付	0.5 mL/6.25cm ²	刺激性なし		237
T-11 GLP	眼刺激性 5.0%フロアブル 10日間観察	ウサギ	非洗眼 ♂:6 洗眼 ♂:3	点眼	0.1mL/眼	軽度 刺激性あり		238
T-13 GLP	眼刺激性 5.0%フロアブル 1000倍希釈液 7日間観察	ウサギ	非洗眼 ♀6 洗眼 ♀3	点眼	0.1 mL/眼	刺激性なし		240
T-17 GLP	皮膚感作性 5.0%フロアブル (Maximization法) 48時間観察	モルモット	検体 ♀:20 対照 ♀:10	皮内 および 貼付	感作: 5%検体(皮内) 100%検体(貼付) 惹起: 100%検体(貼付)	感作性なし		243

■ 残留農薬安全性評価委員会で評価済

1. 原体

(1) 急性毒性

1) ラットを用いた急性経口毒性試験

(資料 No. T-1)

- 検体純度 :
 供試動物 : SD 系ラット、7 週齢、体重; 雄 172~200g、雌 132~159g、1 群雌雄各 5 匹
 観察期間 : 14 日間
 試験方法 : LD₅₀ 設定法
 投与方法 : 検体と Tween80 を 45:55 の割合で混合し、これに 1% cellulose methyl ether 水溶液を加えて調製して経口投与した。投与前に約 18 時間及び投与後 4 時間絶食した。
 観察・検査項目 : 中毒症状及び生死を 14 日間観察した。死亡動物及び試験終了時の全生存動物について組織の肉眼的病理検査を行った。

結果:

投与方法 性別	経口	
	雄	雌
投与量 (mg/kg)	200, 280, 400, 600, 800	200, 280, 400, 600, 800
LD ₅₀ (mg/kg) (95%信頼限界)	480 (298~662)	245 (167~323)
死亡開始時間及び終了時間	投与後2時間から開始 投与後5日に終了	投与後24時間から開始 投与後5日に終了
症状発現時間及び消失時間	投与後1時間から発現 投与後14日で消失せず	投与後1時間から発現 投与後14日で消失せず
死亡例の認められなかった 最高投与量 (mg/kg)	200	<200

投与日に 280mg/kg 以上の群で閉眼及び運動量の低下が、全投与群で軟便が認められた 600mg/kg 以上の群の少数例で呼吸低下、800mg/kg 群で乾性ラ音が観察された。これらの症状は投与後 7 日目には回復したが、脱毛は一部の動物で 14 日目まで認められた。また投与後 1~6 日目に全ての群で摂餌量が減少した。各投与群の 1 あるいは 2 例で、体重が投与後 7 日目にかけて減少したが、14 日目には回復した。

剖検所見として、死亡例で体腔内精巢、胃腸管壁の変色、胃腸管内の赤色又は黒色物質貯留及び肺の変色が認められた。生存例では異常はなかった。

2) マウスを用いた急性経口毒性試験

(資料 No. T-2)

- 検体純度 :
 供試動物 : ICR系マウス、雌雄5週齢、体重;雄25~28g 雌20~28g、
 1群雌雄各5匹
 観察期間 : 14日間
 試験方法 : LD₅₀設定法
 投与方法 : 検体とTween80を45:55の割合で混合し、これに1%cellulose methyl ether水溶液を加えて調製して経口投与した。投与前に2時間及び投与後2時間絶食した。
 観察・検査項目 : 中毒症状及び生死を14日間観察した。死亡動物及び試験終了時の全生存動物について組織の肉眼的病理検査を行った。

結果:

投与方法 性別	経口	
	雄	雌
投与量 (mg/kg)	200, 280, 400, 600, 800	200, 280, 400, 600 800, 1200, 1700
LD ₅₀ (mg/kg) (95%信頼限界)	520 (334~706)	440 (281~599)
死亡開始時間及び終了時間	投与後3日から開始 投与後5日に終了	投与後1時間から開始 投与後6日に終了
症状発現時間及び消失時間	投与後1時間から発現 投与後6日に消失	投与後1時間から発現 投与後14日で消失せず
死亡例の認められなかった 最高投与量 (mg/kg)	<200	<200

全投与群の雌雄で、運動失調、呼吸低下、運動量の低下及び脱力が認められ、800mg/kg 群雌1例で呼吸亢進、呼吸困難及び体温低下等が観察された。また1200及び1700mg/kg 群雌では振戦がみられた。これらの症状は11日目までに回復したが、雌1例で認められた運動亢進は14日目まで観察された。また投与後1~5日目に、全ての群で摂餌量が減少した。400及び800mg/kg 群の各1例で体重が投与後7日目に減少したが、14日目には回復した。
 剖検所見として、死亡例に体腔内精巢、胃腸管壁の変色、胃腸管内の赤色あるいは黒色物質貯留及び肺の変色が認められた。生存例に異常は認められなかった。

3) ラットを用いた急性経皮毒性試験

(資料 No. T-3)

- 検体純度 :
 供試動物 : SD 系ラット、雄 8 週齢 雌 12 週齢、体重;雄 247~274g、雌 225~245g、
 1 群雌雄各 5 匹
 観察期間 : 14 日間
 投与方法 : 検体を生理食塩水で湿らせ、除毛した動物の肩甲部~腰部に 24 時間塗布した。
 観察・検査項目 : 中毒症状及び生死を 14 日間観察した。死亡動物及び試験終了時の全生存動物について適用部位を含む組織の肉眼的病理検査を行った。

結果:

投与方法 性 別	経 皮	
	雄	雌
投与量 (mg/kg)	2000	2000
LD ₅₀ (mg/kg)	>2000	>2000
死亡開始時間及び終了時間	死亡例なし	死亡例なし
症状発現時間及び消失時間	投与後3日から発現 投与後5日に消失	投与後3日から発現 投与後9日に消失
死亡例の認められなかった 最高投与量 (mg/kg)	2000	2000

観察期間を通じて、雌雄とも死亡は観察されなかった。全例で投与後 3 日目に摂餌量が減少したが、9 日目には回復した。雌 1 例の体重が投与後 7 日目に、他の雌 1 例では 14 日目に減少した。
 剖検において肉眼的異常は認められなかった。

4) ラットを用いた急性吸入毒性試験

(資料 No. T-4)

検体純度 :
 供試動物 : SD系ラット、雄 8~10 週齢 雌 7~11 週齢、体重;雄 235~367g
 雌 174~257g、1群雌雄各 5 匹
 観察期間 : 14 日間
 暴露方法 : 微粉碎した原体+ホワイトカーボン(9+1)を NDA/Sibata MF-2 粉じん発生装置を用いてダストを発生させ、4 時間全身暴露させた。
 暴露空気はガラスフィルターを用いて捕集し、HPLC 法により検体の実際濃度を求めた。

暴露条件 :

設定濃度 (mg/L)	0.63	0.52	1.4	1.8	28
実際濃度 (mg/L)	0.061	0.13	0.33	0.66	0.69
10 μ m以下の粒子の割合 (%)	91	81	82	95	67
空気力学的質量中位径 (μ m)	3.5	4.2	4.2	3.4	6.8
チャンバー容積 (L)	100				
チャンバー 内通気量 (L/分)	20~31				
暴露条件	ダスト 4時間 全身暴露				

観察・検査項目 : 中毒症状及び生死を暴露中及び暴露後 14 日間観察した。死亡動物及び観察期間終了時の全生存動物について組織の肉眼的病理検査を行った。

結果 :

投与方法	吸 入	
	雄	雌
暴露濃度 (mg/L)	0.061, 0.13, 0.33, 0.66, 0.69	0.061, 0.13, 0.33, 0.66, 0.69
LC ₅₀ (mg/L) (95%信頼限界)	0.33 (0.176~0.678)	0.36 (0.228~0.534)
死亡開始時間及び終了時間	暴露中から開始 暴露後11日に終了	暴露中から開始 暴露後12日に終了
症状発現時間及び消失時間	暴露開始後15分から発現 暴露後14日で消失せず	暴露開始後15分から発現 暴露後14日で消失せず
死亡例の認められなかった 最高暴露濃度(mg/L)	<0.061	0.13

暴露中は全ての群で、努力呼吸、あえぎ呼吸及び活動低下がみられ、鼻からの分泌物が暴露後も観察された。0.33 及び 0.69mg/L 群では、全例で流涙が認められた。高濃度群ではこれらの症状の回復が遅れたが、暴露後 1 週間以降

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

では散発的であった。

暴露後全ての動物で体重が低下したが、その後回復した。剖検所見として、死亡動物に肺及び皮膚の変色が認められたが、これらは死亡動物に通常みられる変化である。検体投与に起因すると思われる所見は認められなかった。

(2) 皮膚及び眼に対する刺激性

1) ウサギを用いた皮膚刺激性試験

(資料 No. T-10)

- 検体純度 :
 供試動物 : New Zealand White ウサギ、約 11 週齢、体重 ; 2.39~2.76kg、1 群雄 6 匹
 観察期間 : 72 時間
 投与方法 : 微粉末化した検体 0.5g を蒸留水で湿らせて、刈毛した動物の背部皮膚 (約 6cm²) に適用し、半閉塞貼付した。暴露時間は 4 時間とし、皮膚に残った検体は水で洗い流した。
 観察項目 : 暴露終了 1、24、48 及び 72 時間後に適用部位の刺激性変化 (紅斑、痂皮、浮腫) の有無等を観察し、Draize 法に従って採点した。
 結果 : 観察した刺激性変化の採点は下表のとおりである。

動物番号	項目	最高評点 *	暴露後時間			
			1時間	24時間	48時間	72時間
1	紅斑・痂皮	4	0	0	0	0
	浮腫	4	0	0	0	0
2	紅斑・痂皮	4	0	0	0	0
	浮腫	4	0	0	0	0
3	紅斑・痂皮	4	0	0	0	0
	浮腫	4	0	0	0	0
4	紅斑・痂皮	4	0	0	0	0
	浮腫	4	0	0	0	0
5	紅斑・痂皮	4	0	0	0	0
	浮腫	4	0	0	0	0
6	紅斑・痂皮	4	0	0	0	0
	浮腫	4	0	0	0	0
合計	紅斑・痂皮	24	0	0	0	0
	浮腫	24	0	0	0	0
平均	紅斑・痂皮	4	0	0	0	0
	浮腫	4	0	0	0	0

*: 判定基準の最高評点

刺激性変化は全ての動物で認められなかった。

- 結論 : フェンピロキシメート原体はウサギの皮膚に対して、刺激性はないものと思われる。

2) ウサギを用いた眼刺激性試験

(資料 No. T-9)

- 検体純度 :
供試動物 : New Zealand White 雄ウサギ、約 12 週齢、体重 ; 2.54~3.07kg、
非洗眼群 6 匹、洗眼群 3 匹
観察期間 : 7 日間
投与方法 : 検体 0.1g を左眼に適用し、3 匹は 2~3 分後に洗眼した。6 匹については、
洗眼しなかった。
観察項目 : 適用 1、3、24、48、72 時間後及び 4、7 日後に角膜、虹彩及び結膜の変
化を観察し、Draize 法に従って採点した。
結果 : 観察した刺激性変化の採点は次頁の表のとおりである。
非洗眼群 : 検体適用 1 時間後に、結膜の軽度発赤及び浮腫が全例に、分泌物の増加が 3
例に観察されたが、分泌物及び浮腫は適用 24 時間後に、発赤は 72 時間後に
回復した。角膜及び虹彩には刺激性変化は認められなかった。
洗眼群 : 検体適用 1 時間後に、結膜の軽度発赤が全例に観察され、3 時間後に軽度浮
腫及び分泌物の増加が 1 例にみられたが、72 時間後には回復した。
結論 : フェンピロキシメート原体はウサギの眼に対して、ごく軽度の刺激性があ
るものと思われる。また、洗眼により、結膜に対する初期の刺激性が軽減
される傾向がみられたが、回復時間には差がなく、洗眼効果は明確ではな
かった。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任は日本農薬株式会社にある。

群	動物 番号	項目		最高 評点 ¹⁾	適用後時間							
					1時間	3時間	24時間	48時間	72時間	4日間	7日間	
非 洗 眼 群	1	角膜 混濁	程度	4	0	0	0	0	0	0	0	0
			面積	4	0	0	0	0	0	0	0	0
		虹彩		2	0	0	0	0	0	0	0	0
		結膜	発赤	3	1	1	1	1	0	0	0	0
			浮腫	4	1	1	0	0	0	0	0	0
			分泌物	3	1	1	0	0	0	0	0	0
	2	角膜 混濁	程度	4	0	0	0	0	0	0	0	0
			面積	4	0	0	0	0	0	0	0	0
		虹彩		2	0	0	0	0	0	0	0	0
		結膜	発赤	3	1	1	1	0	0	0	0	0
			浮腫	4	1	1	0	0	0	0	0	0
			分泌物	3	0	2	0	0	0	0	0	0
	3	角膜 混濁	程度	4	0	0	0	0	0	0	0	0
			面積	4	0	0	0	0	0	0	0	0
		虹彩		2	0	0	0	0	0	0	0	0
		結膜	発赤	3	1	1	1	0	0	0	0	0
			浮腫	4	1	1	0	0	0	0	0	0
			分泌物	3	0	2	0	0	0	0	0	0
	4	角膜 混濁	程度	4	0	0	0	0	0	0	0	0
			面積	4	0	0	0	0	0	0	0	0
		虹彩		2	0	0	0	0	0	0	0	0
		結膜	発赤	3	1	1	1	1	0	0	0	0
			浮腫	4	1	1	0	0	0	0	0	0
			分泌物	3	1	1	0	0	0	0	0	0
5	角膜 混濁	程度	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
		面積	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	虹彩		2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	結膜	発赤	3	1	1	1	1	0	0	0	0	
		浮腫	4	1	2	0	0	0	0	0	0	
		分泌物	3	1	2	0	0	0	0	0	0	
6	角膜 混濁	程度	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
		面積	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	虹彩		2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	結膜	発赤	3	1	1	1	1	0	0	0	0	
		浮腫	4	1	1	0	0	0	0	0	0	
		分泌物	3	0	1	0	0	0	0	0	0	
合計*				660	30	44	12	8	0	0	0	
平均				110	5.0	7.3	2.0	1.3	0	0	0	
洗 眼 群 (3匹平均)	角膜 混濁	程度	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
		面積	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	虹彩		2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	結膜	発赤	3	1	1	1	0.7	0	0	0	0	
		浮腫	4	0	0.3	0	0	0	0	0	0	
		分泌物	3	0.0	0.3	0	0	0	0	0	0	
	平均				110	2.0	3.3	2.0	1.3	0	0	0

¹⁾: 判定基準の最高評点、*: Draize 法による評価点(最高 110 点)